

	科目名	教員名	ページ
101	経営戦略基礎	牛島 辰男	3
102	ファイナンス基礎	中里 宗敬	4
103	マーケティング基礎	MAYHEW,G.E.	5
104	アカウンティング基礎	榊原 正幸	6
105	オペレーションズ・情報システム基礎	井田 昌之	7
106	企業倫理とコンプライアンス	河口 真理子	8
107	企業経営の経済学	飯塚 敏晃	9
108	統計分析 I	森田 充	10
109	組織行動	須田 敏子	11
201	マクロ経済学	藤井 賢治	12
202	マクロデータ分析	福井 義高	13
203	制度と市場	藤井 賢治	14
204	経営史	橘川 武郎	15
206	リスク・マネジメント	戸田 眞	16
207	コーポレート・ガバナンス	井手 正介	17
208	経営倫理と宗教	西谷 幸介	18
209	経営倫理と経済学	藤井 賢治	19
211	ネゴシエーション	村田 佳生	20
212	統計分析 II	森田 充	21
213	経営数学	後藤 允	22
214	オペレーションズ・リサーチ	杉山 学	23
216	アジアのビジネス	高橋 文郎	24
217	GSIM特別講座－安全保障輸出管理	新留 二郎	25
MGT301	グローバル・マネジメント	中野 勉	26
MGT302	ゲーム理論とマネジメント	飯塚 敏晃	27
MGT303	競争戦略	牛島 辰男	28
MGT304	企業戦略	牛島 辰男	29
MGT305	組織の戦略的デザイン	大湾 秀雄	30
MGT306	人事システムの設計	大湾 秀雄	31
MGT307	イノベーション・マネジメント	飯野 暢	32
MGT308	新事業とベンチャー	前田 昇	33
MGT309	アントレプレナーシップ	熊平 美香	34
MGT310	産業組織と市場戦略	大湾 秀雄	35
MGT311	ビジネスとネットワーク組織	中野 勉	36
MGT312	人材マネジメント	須田 敏子	37
MKT301	グローバル・マーケティング	前田 昇	38
MKT302	マーケティング環境	松浦 祥子	39
MKT303	消費者購買行動	MAYHEW,G.E.	40
MKT304	マーケティング・リサーチ	岡橋 孜	41
MKT305	新製品開発	岩成 和子	42
MKT306	ブランド戦略	松浦 祥子	43
MKT307	価格戦略	MAYHEW,G.E.	44
MKT308	マーケティング・チャネル	懸田 豊	45
MKT309	マーケティング・コミュニケーション	松浦 祥子	46
MKT310	サービス・マーケティング	岩成 和子	47
MKT311	インターネット・マーケティング	進藤 美希	48
F&A301	コーポレート・ファイナンス	高橋 文郎	49
F&A302	国際ファイナンス	武田 澄広	50
F&A303	インベストメント	武田 澄広	51
F&A304	応用コーポレート・ファイナンス	高橋 文郎	52
F&A305	機関投資家と資産運用	笠利 宏	53

F&A306	証券市場分析	中里 宗敬	54
F&A307	デリバティブ	武田 澄広	55
F&A308	コンピュータショナル・ファイナンス	北村 智紀	56
F&A309	投資情報分析	北川 哲雄	57
F&A310	インベスター・リレーションズ	北川 哲雄	58
F&A311	企業合併・買収	吉永 康樹	59
F&A313	財務会計	福井 義高	60
F&A314	管理会計	東海 幹夫	61
F&A315	税務会計	中島 勝巳	62
F&A316	国際会計 (2007年度シラバス) ※	上西 順子	63
F&A317	会計情報と株式市場	榊原 正幸	64
F&A318	内部統制	中村 亨	65
F&A319	財務分析	福井 義高	66
F&A322	ファイナンス会計特別講座－会計の諸問題	榊原 正幸	67
OIS301	ネットビジネス	藤原 洋	68
OIS302	ITソリューション	岩井 千明・堀内 正博	69
OIS303	ITと経営戦略	長谷川 純一	70
OIS304	バリューチェーン・マネジメント	玉木 欽也	71
OIS305	クオリティ・マネジメント	本間 香介	72
OIS306	起業とIT	藤原 洋	73
OIS307	インターネット	村上 健一郎	74
OIS308	ビジネスデータ分析	岩井 千明	75
OIS309	情報セキュリティ	井田 昌之	76
OIS310	ウェブ戦略	大島 正嗣	77
OIS311	グローバルIT	井田 昌之	78
501	マネジメント・ゲーム I・II	岩井 千明・森田 充・福井 一枝	79
502	FAST I	中里 宗敬	80
502	FAST II	中里 宗敬・北村 智紀	81
503	インターネット・ビジネス・プロジェクト I・II (I・II通年で履修のこと)	I 井田 昌之・岩井 千明・藤原 洋 II 井田 昌之・岩井 千明・西村 一彦	82 83
504	ファンド・マネジメント・シミュレーション	北川哲雄・森田 充・大和証券グループ	84
505	ビジネス・プランニング	前田 昇・高橋 文郎	85

※ F&A316 国際会計 は 2007 年度のシラバスを参考に掲載した。
2008 年度シラバスは決まり次第、お知らせする。

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	101	経営戦略基礎	牛島 辰男	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースでは、経営戦略とりわけ事業戦略 (business strategy) の基礎について集中的に学習します。競争、戦略、競争優位といった基本的なコンセプトの意味を吟味しながら、競争的な環境で活動する企業が、いかに競合に対する優位性を確立、維持し、優れたパフォーマンスを実現していくか検討していきます。授業は分析のフレームワーク、鍵概念に関する解説 (講義) とケース (事例研究) に基づくクラスディスカッションを隔週で行うモジュール方式により進めます。より詳細なシラバスをコース初日に配布します。				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
サローナー他	戦略経営論	東洋経済新報社	4800 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	モジュール 1 : 戦略とは何か			
2	ケース) Honda (A) & (B)			
3	モジュール 2 : 事業環境の分析			
4	ケース) Crown Cork & Seal in 1989			
5	モジュール 3 : 競争優位			
6	ケース) Wal-Mart Stores' Discount Operations			
7	モジュール 4 : 経営資源と組織能力			
8	ケース) Matching Dell			
9	モジュール 5 : 事業組織と戦略			
10	ケース) Saturn: A Different Kind of Car Company			
11	モジュール 5 : 競争と戦略			
12	ケース) Leadership Online: BN vs. Amazon.com			
成績評価 (Grading System)				
クラス参加 (30%)、期末試験 (40%)、レポート (30%)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
コリス+モンゴメリー	資源ベースの経営戦略論	東洋経済新報社	3800 円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	102	ファイナンス基礎	中里 宗敬
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>ファイナンスは、企業の資金調達と投資活動を中心とするお金の流れに関する学問分野である。証券投資によって資産形成を図ったり、資金を調達して事業へ投資を行い、経済的価値を創造していくためには、ファイナンスの知識は不可欠なものである。この授業では、現在価値の考え方、投資のリスクとリターン、金融資産の価格決定のメカニズム、資本コスト、企業の資金調達と投資決定、デリバティブ（先物、オプション）の評価と利用方法など、ファイナンス分野全体を概観し、基本的な考え方について学ぶ。授業はテキストに沿って講義形式で行う。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
なし			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
古川浩一他	基礎からのコーポレート・ファイナンス (第3版)	中央経済社	3,990円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	イントロダクション (ファイナンスの目的と課題)	第1章	
2	現在価値の計算、債券の評価	第2章、第6章	
3	リスクとリターン	第3章	
4	ポートフォリオ理論(1)	第4章	
5	ポートフォリオ理論(2)	第4章	
6	資本資産評価モデル (CAPM)	第5章	
7	デリバティブ(1) (デリバティブの理論価格)	第7章	
8	デリバティブ(2) (デリバティブを利用したリスク管理)	第7章	
9	ファイナンスの話題		
10	資本コスト	第8章	
11	資本予算	第9章	
12	資本構成と企業価値	第11章	
期末	期末試験		
成績評価 (Grading System)			
出席・レポート：60% 試験：40%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL-FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	103	マーケティング基礎	MAYHEW, G. E.
授業科目の概要 (Course Description)			
Marketing is by far the broadest area of business. While there are many specific skills needed for various aspects of marketing, the one skill that is required of everyone no matter what their function is a “marketing frame of mind,” for marketing is more a way of thinking about and analyzing business problems than anything else. In addition, the class gives the students 1) a broad introduction to marketing that covers all of the basic principles, institutions, vocabulary, etc. needed to begin a career in marketing management; 2) the ability to match marketing policies to capabilities and objectives; and 3) a clear view of the “big picture” of marketing in preparation for marketing electives that cover more specific topics.			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
Kotler, Philip Keller, Kevin Lane	A Framework for Marketing Management	Pearson	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	Creating Customer Value	1, 4	
2	Situation Analysis	3, 5, 6, 9	
3	Situation Analysis: Webvan	Case	
4	Marketing Strategy	2, 10	
5	Marketing Strategy: Aqualisa Quartz: Simply a Better Shower	Case	
6	Segmentation: Aravind Eye Hospital	7, Case	
7	Branding: IKEA Invades America	8, Case	
8	Industrial Marketing: Loctite	Case	
9	Service Marketing: Starbucks: Delivering Customer Service	11, Case	
10	Pricing: Optical Distortion, Inc. (A)	12, Case	
11	Distribution Channels: Toys ‘R Us Japan	13, 14, Case	
12	Marketing Communications: Google Advertising	15, 16, 17, Case	
成績評価 (Grading System)			
Exam (50%), written case reports (40%), class participation (10%)			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
Lehmann, Donald R. Winer, Russell, S.	Analysis for Marketing Planning	Irwin	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	104	アカウントィング基礎	榊原 正幸	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>会計学の初学者を対象とする基礎的講義である。会計学の基本事項を中心に解説し、最終的には財務諸表を読む能力を修得する。会計の基礎は、経営の基礎でもあるという信念に基づき、基礎的事項を徹底的に修得することを目的とする。そのために、簿記会計の基本事項を学習する。簿記の基本から始め、初級程度の商業簿記を取り扱い、完全にマスターする。</p> <p>後半では、財務諸表を読むための基礎的知識を修得し、中級程度の内容も若干取り扱う。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
なし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
榊原正幸	簿記入門	税務経理協会	2,500 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	会計の基本 仕訳のルール			
2	簿記一巡の流れ 1			
3	簿記一巡の流れ 2 / 問題演習			
4	三分法 / 現金・預金			
5	伝票 / 手形			
6	その他の債権債務 / 有形固定資産と減価償却			
7	簿記会計の基礎についての中間テスト			
8	有価証券・貸倒・経過勘定項目の処理			
9	精算表作成 / 試算表作成			
10	財務諸表の見方 1			
11	財務諸表の見方 2			
12	期末試験			
成績評価 (Grading System)				
中間試験と期末試験の点数で評価する。既習者には試験免除制度を講じる予定である。				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
榊原正幸	中級簿記	税務経理協会	2,500 円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	105	オペレーションズ・情報システム基礎	井田 昌之
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>企業経営における戦略的課題は業務遂行の既存の仕組みの前に具体的な実施の姿が描けず、達成できないことがある。これにはさまざまな要因があるが、少なくとも業務運用そのものについての理解、業務運用において重要な役割を果たす IT ならびに情報システムについての理解をもつことにより展望が開ける。</p> <p>また、旧来のスタッフ的な経営情報システム部門の体質は、社内随一の守旧派の集まりなどと揶揄される事態となりかねず、全社的な牽引車の役割どころかお荷物になりつつある企業が見受けられる。</p> <p>技術の変化と進展は、業務改善の遅れの言い訳になってはならない。しかし、おさきぼうかつぎでも困る。バランスをもって IT の強化をすすめることがこれからの企業にとって不可欠の課題である。この科目では、こうした点から、情報システムとその基盤技術の進展を経営サイドからの視点をふまえて、その基礎から順に扱う。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
井田昌之	OIS 基礎講義ノート	購買会にて販売予定	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	オペレーションズマネジメントと IT	『第 5 回までに指定した参考書を読み	
2	業務システムの革新と IT	第 2 章に関して、各自の意見をまとめ、	
3	経営戦略の実施にあたっての課題と IT の利用	A4 2 枚程度で著し、第 5 回に提出』	
4	オペレーションマネジメントとグローバルバリューチェーン		
5	インターネットが与えるもの		
6	オープンソースとフラット化する世界の課題		
7	基幹情報システム		
8	情報システムプランニング		
9	戦略的情報マネジメント		
10	要求仕様と RFP		
11	ネットビジネス		
12	サービス指向：SOA と分散システム		
成績評価 (Grading System)			
出席、小レポート、最終レポート			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
トーマス・フリードマン	フラット化する世界 (上)	日本経済新聞社	1900円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	106	企業倫理とコンプライアンス	河口 真理子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>90年代後半からの環境経営ブーム、2000年以降、度重なる企業の不祥事や海外のNGOなどの人権に対する活動などから企業の社会的責任・企業倫理・コンプライアンスへの関心が高まっている。さらに、近年温暖化問題は、ハリケーンカトリーナや、欧州を襲った熱波などの度重なる天災に加えて、昨年ノーベル賞を受賞したアル・ゴア元米国副大統領の映画「不都合な真実」や、IPCC第4次報告書の公表、昨年末バリで開催されたCOP13などにより国際的な政治課題になってきている。企業としても、重要な経営課題となりつつある。この講義では、企業の利潤追求活動とは一見つながりがないようにみえるCSR・企業倫理が経営上の関心時となったのか、という点について、そもそもCSRとは何か、なぜCSRが関心を集めるようになったのか、という背景の説明から、経営戦略にいかんCSRを位置づけるべきか、そして人権問題や温暖化問題などの具体的なテーマに対して企業はどのように取り組むべきかを論じる。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
特になし			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	本コースの前提：CSRを論じるまえに。企業を取り巻く社会環境について		
2	環境問題とCSR		
3	社会とCSR		
4	人権問題とCSRの考え方		
5	労働とCSRの考え方		
6	温暖化問題をどう捉えるか		
7	ステークホルダーコミュニケーション1		
8	ステークホルダーコミュニケーション2		
9	責任ある消費者		
10	社会的責任投資1		
11	社会的責任投資2		
12	これからの社会はどうあるべきか。		
成績評価 (Grading System)			
論文試験及び出席動向			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
岩井克人 深井滋子 高巖他	会社とはだれのものか、会社はこれからどうなるのか 持続可能な世界論 CSR企業価値をどう高めるか	平凡社 ナカニシヤ出版 日本経済新聞社	1600 2500 1600

区分 (FULL-FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	107	企業経営の経済学	飯塚 敏晃	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>本コースでは、企業の意思決定のために必要な基本的ミクロ経済理論を学ぶと共に、身近な企業事例の考察を通じ、理論を経営現場の諸問題に応用する力を養う。需要曲線、価格弾力性、コストの諸概念、規模の経済、需要と供給の均衡といった基礎概念をはじめ、価格支配力、価格差別(バンドリング/垂直的製品差別化)等の応用概念や、ゲーム理論や情報とインセンティブの基礎についても学ぶ。これらを通じ、戦略論・マーケティング・組織論といった専門科目を学ぶための基礎を構築する。マクロ経済に関わる諸問題(景気循環、インフレーション、為替レートなど)は本コースでは扱わず、マクロ経済学で議論する。(より詳細なシラバスを授業開始約1週間前に大学院事務室前のボックスに入れておくので、よく読んで最初の授業に臨むこと。)</p>				
テキスト(Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
「経営の経済学」	丸山雅祥著	有斐閣		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	消費者及び企業の合理的行動			
2	意思決定にまつわる様々なコストの概念			
3	最適数量、最適価格の設定			
4	完全市場における需給の均衡			
5	価格支配力。独占の理論			
6	価格差別。バンドリング。バージョニング			
7	ゲーム理論			
8	モラルハザード及びアドバースセレクション			
9				
10				
11				
12				
成績評価 (Grading System)				
期末試験、ホームワーク、クラスでの貢献など				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	108	統計分析 I	森田 充	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>私たちは日常生活においてさまざまな統計データに触れることが多い。本講義では、それらのデータを適切に要約し役立つ情報を引き出す記述統計、および、一部のデータから仮説を主張するための推測統計の基礎的な理論を習得し、統計学の見方・考え方を身につけてもらうことを目的としている。配布資料を中心として身近な事例や演習問題を用いて講義を進めていく。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
上田 拓治	ビジネスのための統計入門	日本評論社	2300 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	ガイダンス、数学的準備			
2	記述統計 平均、分散、標準偏差			
3	比較の方法 変動係数、標準化変量			
4	分布をみる 度数分布表 ヒストグラム			
5	関係をみる 相関、回帰分析			
6	確率 確率の定義 確率の基本定理、確率の演算			
7	確率変数と確率分布			
8	確率変数の期待値と分散			
9	正規分布			
10	統計的推定			
11	統計的検定			
12	統計的検定			
成績評価 (Grading System)				
期末テスト 70% 宿題 30%				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	109	組織行動	須田 敏子	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>組織行動論は組織における人間行動を理解することを目的としています。その内容は、組織を構成する個人の理解から、組織における人間相互の関係、組織構造や組織文化など多岐にわたります。本講座ではその中から、いくつかの項目を選んで重点的に講義・議論を行います。理論の理解と共に組織行動論をどのように実践に生かしていくかを重視して、ケース分析などを行っていきます。組織の中で働くすべての人にとって、組織行動論は必須の知識です。これまでの職場の経験に照らしながら、授業に参加してください。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
ステファン・ロビンス	組織行動のマネジメント		ダイヤモンド社	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	組織行動論の概要			
2	個人の違い			
3	モチベーション			
4	リーダーシップ			
5	グループ・チーム			
6	コンフリクト			
7	交渉			
8	デシジョンメイキング (個人・グループ)			
9	組織文化			
10				
成績評価 (Grading System)				
出席、グループ発表、アサインメントなどを総合評価します。成績評価の詳細は第1回目の授業時に説明します。				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
授業時に参考文献を紹介し ます。				

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	201	マクロ経済学	藤井 賢治	
授業科目の概要 (Course Description)				
マクロ経済学の概要について、具体的事例への利用・応用を意識した講義とします。講義自体は、下記にあげたブランチャールに準拠して行いますが、マクロ経済学はかなり標準化されていますので、各自で購入するテキストは指定テキスト以外でも可です。(ただし、若干の不都合があることは承知してください。)、毎時間基本事項に関して30分程度の質疑応答(ないしはディスカッション)を予定しています。ディスカッションのためのテーマ、資料は前もって配布します。				
履修条件 (Prerequisite)				
とくにありません。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	世界経済の現状とマクロ経済学の概要	1章、2章		
2	国民所得の決定	3章、4章		
3	貨幣需要と貨幣供給	5章		
4	IS=LMモデル	6章		
5	期待、消費および投資	7章、8章		
6	金融市場と期待、IS=LMと期待	9章、10章		
7	貿易と国際収支	11章、12章		
8	マンデル=フレミング・モデル	13章、14章		
9	総需要・総供給分析	15章、16章		
10	インフレと失業	17章、18章		
11	成長論	22章～24章		
12	政策論	27章～29章		
成績評価 (Grading System)				
小テスト(1回)と期末試験の合計点				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	202	マクロデータ分析	福井 義高	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>企業経営を行う上で、国内外の経済動向を正確に理解することは必要不可欠である。新聞等従来型メディアのみならず、インターネットを通じて、マクロデータを含む多種多様な情報にアクセスできる機会は増大したものの、そうしたデータの意味を正確に理解することは意外に困難であり、経済をめぐる議論においては、基礎的概念を理解せず、一見もってもらしいけれども、実は意味不明の主張を聞くことがしばしばである。この授業では、今さら知らないとは言えない(?)マクロ経済データの意味を、実例を用いながら解説し、データを通じてマクロ経済を理解することを目指す。教科書とは別に、適宜、資料を配布する予定である。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
富山県統計調査課	経済指標のかんどころ		富山県統計協会	1,575 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	マクロデータと企業経営			
2	経済関連指標		教科書 12 章	
3	経済関連指標		教科書 12 章	
4	統計		教科書 13 章	
5	財政		教科書 5 章	
6	財政		教科書 5 章	
7	金融		教科書 4 章	
8	金融		教科書 4 章	
9	国際金融		教科書 7 章	
10	国際経済		教科書 6 章	
11	国際経済		教科書 6 章	
12	社会保障		教科書 10 章	
成績評価 (Grading System)				
期末試験 (100%)				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
The Economist	Guide to Economic Indicators		Bloomberg Press	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	203	制度と市場	藤井 賢治	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>経済学と経営学の接点としての、制度と組織の経済学を概説します。経済学は市場の学として発展して来たために長らく企業を組織としては扱ってきませんでした。漸くにして最近20年ほどで組織の経済学、制度の経済学が定着してきました。制度や組織のあり方と市場機能の相互依存関係についての概略的な理解を得ることを目標とします。組織理論の入門編と理解してください。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
とくにありません。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
宮本光晴	企業システムの経済学	新世社	2500 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	制度について	配付資料		
2	貨幣について	配付資料		
3	企業について	配付資料		
4	取引コストの経済学	第1章		
5	雇用システム	第2章		
6	日本的経営	第3章前半		
7	日本の雇用システム	第3章後半		
8	企業間取引	第4章前半		
9	サプライヤー関係	第4章後半		
10	金融システム	第5章		
11	株式会社制度	第6章前半		
12	コーポレートガバナンス	第6章後半		
成績評価 (Grading System)				
平常点とレポート				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	204	経営史	橘川 武郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
江戸時代から今日にいたる日本経済と日本企業（江戸時代は商家）の歩みを、下記テキストを使って、概説する。①江戸時代、②明治前・中期、③明治後期～昭和初期、④第二次大戦前後、⑤高度成長期以降、の五つの時期に区分し、一度目はマクロ的事項、二度目はミクロ的事項を講義する。可能な限り国際比較を行い、学会における論争にも言及する。授業は、講義形式で進め、質疑応答にも時間をさく。				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
宮本又郎・宇田川勝・橘川武郎 他	日本経営史 [新版] : 江戸時代から 21 世紀へ	有斐閣、2007 年	3400 円 + 税	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	オリエンテーション	テキスト初版まえがき		
2	江戸時代 (1) : pre-modern か early-modern か	テキスト第 1 章第 1 節		
3	江戸時代 (2) : 初期豪商と三大商家	テキスト第 1 章第 2・3・4 節		
4	明治前・中期 (1) : 日本の産業革命	テキスト第 2 章第 1・4 節		
5	明治前・中期 (2) : 財閥の成立	テキスト第 2 章第 2・3 節		
6	明治後期～昭和初期 (1) : 景気循環とビジネスチャンスの変化	テキスト第 3 章第 1・4 節		
7	明治後期～昭和初期 (2) : 大企業の成立	テキスト第 3 章第 2・3・5 節		
8	第二次大戦前後 (1) : 戦前・戦後の連続と断絶	テキスト第 4 章第 1・3 節		
9	第二次大戦前後 (2) : 競争的寡占体制の形成	テキスト第 4 章第 2・4・5 節		
10	高度成長期以降 (1) : 日本経済の光と影	テキスト第 5 章第 1・4 節		
11	高度成長期以降 (2) : 日本的経営の光と影	テキスト第 5 章第 2・3・5 節		
12	総括と展望	テキストエピローグ		
成績評価 (Grading System)				
学期末のレポート (70%) + 授業出席率その他 (30%)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
橘川武郎	『松永安左エ門』	ミネルヴァ書房	¥2,300 + 税	
宇田川勝・橘川武郎他 編	『日本の企業間競争』	有斐閣	¥2,800 + 税	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	206	リスク・マネジメント	戸田 眞	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>日本企業は構造的環境変化が進展する「不確実性リスク」の中で企業戦略を展開している。この不確実性のもとで、いかにして企業が有効な意思決定を行い、企業価値を創造し向上させていくかが、企業競争上生き残り発展して行く為に重要不可欠である。</p> <p>本講義はまず「リスク」を、伝統的リスク理論に加え、「不確実性リスク」と「事業機会リスク」の概念でとらえる。その上でリスク・マネジメントを、総合的リスク・マネジメントの観点から検討する。</p> <p>今年度の講義については特にこれまで我国に極めて大きな影響を与えて来たいくつかの国際的リスク、市場リスクを実務家として直面した立場から分析し「リスクとは何か」を考察することとする。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
戸田眞	日本とアメリカの企業に見る新しいコーポレートガバナンス	青山マネジメントレビューNo.8	1800円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	リスクとは何か。リスクの分類。リスクの対応	事前準備については		
2	リスクと保険、資本市場、証券化、デリバティブ	(1) 各種の資料を事前に配布する。		
3	「事例研究」 サブプライムローンとリスク、 我国住宅ローンのリスク	(2) その中で事前準備箇所を指摘し事例検討の準備を指示する		
4	企業価値創造とリスク・マネジメント 企業とリスク。リスクの内容、対応、処理			
5	「事例研究」 エンロン事件の本質			
6	「事例研究」 米国企業ガバナンスの分析	ダウ・ジョーンズ30社の corporate governance principles の分析と検討		
7	我国の企業改革。戦後の発展と現代の問題			
8	「事例研究」 我国企業のガバナンスとリスク	ソニー、トヨタ、キャノン		
9	資本市場とリスク、「アジア通貨危機」「LTCM」			
10	資本市場とリスク 「機関投資家、アクティビスト」	下記参考書 「市場と法」		
11	生保相互会社のリスクとガバナンス「株式会社化の視点」			
12	今後の課題とチャレンジ			
成績評価 (Grading System)				
レポート内容と授業出席状況である。積極的に授業に参画して欲しい				
参考書 授業の都度紹介する				
著者	著書名	出版社	価格	
三宅伸吾	市場と法	日経BP社	2200円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	207	コーポレート・ガバナンス	井手 正介	
授業科目の概要 (Course Description)				
コーポレート・ガバナンスの2大要素である価値創造(収益)責任とコンプライアンス責任のあり方を中心に取り上げる。事前提出課題、毎日の授業ともに、あなたの会社(あるいは調べてみたい公開会社)の実態に即して、問題を調査、分析し、考察する。その結果を毎日小レポートにまとめて提出し、発表する。事前提出課題は、時機を見ておって通知する予定。				
履修条件 (Prerequisite)				
このテーマに関する強い関心。ヘビーな事前のリーディングと提出課題、毎日深夜の作業のアサインメントを必ずこなすこと。議論への積極的参加と貢献。暑さと睡眠不足にめげない気力と体力。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
井手正介	不均衡発展の60年		東洋経済新報社	3,400円+消費税
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	収益責任とコンプライアンス		その都度指示ないし配布	
2	人本主義経営から株主価値重視経営へ			
3	公開企業のガバナンス機構(1)取締役会と取締役			
4	同上(2)株主構成と株主総会			
5	コンプライアンス機構とCSR			
6	人的資源の受託者責任			
7				
8				
9				
10				
11				
12				
成績評価 (Grading System)				
事前課題、出席状況、毎日のアサインメント、討議への参加・貢献度、質問の内容などを総合評価				
参考書:特になし				
著者	著書名		出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	208	経営倫理と宗教	西谷 幸介	
授業科目の概要 (Course Description)				
現在の経済活動は、グローバルな視野をもつと共にローカルな文化・思想・宗教を踏まえる必要があり、経営（利益追求）と環境や他者との共生・調整（企業倫理）を考えていかなければならない。私たちは、緊急の課題としてまた将来世界を見つめる意味でも、深い洞察力をもった経済倫理、経営倫理を構築しなければならない。この研究では、各自の価値観を再検討するために刺激となるものを提供していきたい。				
履修条件 (Prerequisite)				
問題意識を持って研究し、語り合うこと。M・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（岩波文庫）を履修前に読んできて欲しい。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
東方敬信	神の国と経済倫理	教文館	2940円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	経営倫理・経済倫理の必然性	該当するテキストの章を読む		
2	日本の近代化と宗教			
3	生活世界とキリスト教			
4	産業社会と産業精神			
5	働く生活と意味の回復			
6	消費文化と広告の倫理			
7	所有の論理とステューワードシップ			
8	市場経済と倫理的質			
9	ストックホルダーからステイクホルダーへ			
10	企業倫理とソーシャル・イノベーション			
11	援助と経営倫理			
12	経営理念と経営者			
(試験)	レポート			
成績評価 (Grading System)				
通常点とレポートで評価します。				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
高巖、ドナルドソン	ビジネス・エシックス	文真堂	3300円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	209	経営倫理と経済学	藤井 賢治	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>企業の社会的責任論を利益追求とは両立しない余計な制約と見なしていた時代もありましたが、現代では企業を良好に機能させるための必須の条件と見なす積極的な見方が定着してきました。講義の前半では歴史的な経緯や基本的な概念・原理を解説します。講義中盤以降は、下記使用テキストに収められている10のケースの中から受講者の希望を聞いたうえで選択し、受講者自身によるプレゼン並びにこれをテーマとするディスカッションを行う形式で進める予定です。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
とくにありません。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
リン・シャープ・ペイン	ハーバードのケースで学ぶ企業倫理	慶應義塾大学出版会	5800	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	序論 (1) 市場社会の歴史について			
2	序論 (2) 効率性と公正について			
3	序論 (3) 制度と市場について			
4	序論 (4) 企業について			
5	使用テキスト中のケース①			
6	同上②			
7	同上③			
8	同上④			
9	同上⑤			
10	同上⑥			
11	同上⑦			
12	まとめ			
成績評価 (Grading System)				
平常点およびレポート				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
リン・シャープ・ペイン	ヴァリュー・シフト	毎日新聞社	2500	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	211	ネゴシエーション	村田 佳生
授業科目の概要 (Course Description)			
<ul style="list-style-type: none"> 本講義では、ビジネス・シーンを想定したコミュニケーション力の強化を目的とする。 ビジネス・シーンでは、聞き手の意図・関心・感情とずれた、話の手のコミュニケーションが、意思決定や合意の障害になっていることが多い。 本講義では、経営コンサルティングの現場で見られるビジネス・コミュニケーションの事例を取り上げながら、①論理と感情の側面、②書く／話す／聞くの側面から、考え方や枠組みを整理する。また、ワークショップを通して、理解と実践のギャップを認識しながら、学習を進める。 			
履修条件 (Prerequisite)			
<ul style="list-style-type: none"> ビジネスにおける日本語の利用について、問題ないことを前提とする。 授業は、受講者からの事例紹介、問題提起や気づきなどを期待しており、双方向のディスカッションができる参加意欲の高い方を歓迎する。 ワークショップでは、パワーポイント、エクセルを利用するので、リテラシーがあることを希望します。 			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	特に、なし (参照、参考書)		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ビジネス・コミュニケーションをめぐる問題の整理		
2	コミュニケーションの基本的枠組み		
3	1枚の資料の作り方		
4	チャート作成の基礎		
5	ストーリーラインとプレゼンテーション		
6	資料作成のワークショップ		
7	インタビューとヒアリング		
8	ミーティング・マネジメント		
9	ミーティング・マネジメントのワークショップ		
10	ミーティングのコントロールの技法		
11	ハーバード流の交渉術の論点整理		
12	総括		
成績評価 (Grading System)			
第1回の授業で、成績配分について、述べる。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
R. フィッシャー, W. ユーリー	ハーバード流交渉術	三笠書房	520 円
R. フィッシャー, D. シャピロ	新ハーバード流交渉術 論理と感情をどう生かすか	講談社	1,995 円
照屋 華子, 岡田 恵子	ロジカル・シンキングー論理的な思考と構成のスキル	東洋経済新報社	2,310 円
ジーン ゼラズニー他	マッキンゼー流図解の技術	東洋経済新報社	2,310 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	212	統計分析Ⅱ	森田 充	
授業科目の概要 (Course Description)				
統計分析Ⅰに引き続きより高度なデータ解析の手法について多変量解析を中心に講義していく。授業では、主に理論についての講義を行うが、実際にデータを分析する方法について希望者のニーズに応じてMicrosoft Excel または R による演習を行う。講義は適宜講義資料を配布し進めていく。				
履修条件 (Prerequisite)				
統計分析Ⅰを履修していること				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
石村貞夫・石村光資郎	入門はじめての多変量解析		東京図書	2400 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ガイダンス 統計分析Ⅰの復習			
2	統計分析Ⅰの復習			
3	仮説検定			
4	仮説検定			
5	重回帰分析			
6	重回帰分析			
7	主成分分析			
8	主成分分析			
9	因子分析			
10	因子分析			
11	判別分析			
12	判別分析			
成績評価 (Grading System)				
出席、および、授業中の参加度、宿題レポートにより総合的に判断する。				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
涌井良幸+涌井貞美 荒木孝治	Excel で学ぶ多変量解析 R と R コマンダーではじめる多変量解析		ナツメ社 日科技連出版社	2600 円 2940 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	213	経営数学	後藤 允	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>数学を根拠とした分析のためには、数学の知識が不可欠である。 本講義では、特に線形代数、微積分学の基礎知識と、簡単な最適化問題の習得を目標とする。 数学は問題を解くことによって理解が深まる学問であるから、演習や課題を含めた講義進行を心がける。 したがって、受講者は予習よりも復習を重要視することが望ましい。 また、配布資料・課題の解答などは、ホームページにも掲載する予定である。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
	プリント配布			
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	オリエンテーション・高校数学の復習			
2	写像と関数			
3	ベクトル			
4	行列			
5	逆行列と行列式			
6	固有値と固有ベクトル			
7	数列と級数			
8	関数と極限			
9	微分法			
10	偏微分と全微分			
11	積分法			
12	最適化問題			
	筆記試験		持込不可	
成績評価 (Grading System)				
期末試験 70 点・課題 30 点の総合評価。				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
A. C. チャン 木島正明・岩城秀樹	現代経済学の数学基礎 (上・下) 経済と金融工学の基礎数学		シーエーピー出版 朝倉書店	6,525 円 (Amazon) 3,675 円 (Amazon)

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	214	オペレーションズ・リサーチ	杉山 学	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>2年次で行う「マネジメント・ゲーム」に役立つ、重要で基本的な知識とテクニックを解説する。経営の諸問題に対して、適正な意思決定を下すためにも、また、意思決定の根拠を他の人達に理解してもらうためにも、科学的な問題解決の考え方や方法によるアプローチは必要であり、かつ重要である。授業では、現代の企業・組織体において意思決定や計画策定に用いられている「オペレーションズ・リサーチ／経営科学」について、基本的概念と代表的な手法の適用事例を通して学習する。これにより、現実の問題を数理的、システムの的に把握する能力を高め、モデル構築と解析の基礎に対する理解を深める。なお、授業中に表計算ソフト(Excel)を用いて、典型的な経営上の問題を実際に解いて行く予定である。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
ごく初歩的な Excel の操作を習得していることが望ましい。数学アレルギーでないこと。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
高井英造、真鍋龍太郎 編著	問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ入門 — Excel の活用と実務的例題 —		日本評論社	1800 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	オペレーションズ・リサーチ／経営科学の歴史と基本概念		必要に応じて資料を事前配布する	
2	需要予測 (1)		同上	
3	需要予測 (2)		同上	
4	在庫管理 (1)		同上	
5	在庫管理 (2)		同上	
6	線形計画法の基礎 (1)		同上	
7	線形計画法の基礎 (2)		同上	
8	生産計画問題		同上	
9	輸送計画問題		同上	
10	人員配置計画問題		同上	
11	スケジューリング問題		同上	
12	意思決定支援手法		同上	
	総論		同上	
成績評価 (Grading System)				
成績配点は、出席：30%，課題：30%，期末レポート：40%とする。期末レポートは、独創性がどれだけ現れているかを評価する。また、授業への日頃の積極性、社会人である、などを考慮する場合がある。				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	216	アジアのビジネス	高橋 文郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースを、グローバル・ビジネスを行うに際して必要とされる海外諸国の経済・社会の分析、海外産業の分析、海外企業の分析手法を身につけることを目的とする。参加者には、日本以外のアジアの企業を1社選択し、分析対象企業の属する国家と産業、当該企業の経営戦略と経営パフォーマンスについて、自らデータを集めて分析し、分析結果を発表することが要求される。				
履修条件 (Prerequisite)				
既に経営各分野の基本科目を履修した2年生以上を対象とする。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
片山裕・大西裕編	アジアの政治経済・入門		有斐閣	2,300円＋税
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	イントロダクション			
2	アジア諸国の経済・社会の概観(1)		アジアの政治経済・入門 第1章	
3	アジア諸国の経済・社会の概観(2)		アジアの政治経済・入門 第2章	
4	アジア諸国の経済・社会の概観(3)		アジアの政治経済・入門 第3章	
5	アジア諸国の分析 (参加者による発表) (1)			
6	アジア諸国の分析 (参加者による発表) (2)			
7	産業・企業分析のフレームワーク			
8	アジア企業の分析 (参加者による中間発表) (1)			
9	アジア企業の分析 (参加者による中間発表) (2)			
10	アジア諸国と企業の分析 (参加者による最終発表) (1)			
11	アジア諸国と企業の分析 (参加者による最終発表) (2)			
12	まとめ			
成績評価 (Grading System)				
出席状況 20%、学期中の小レポート・発表 20%、期末レポート 60%				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	217	GSIM特別講座－安全保障輸出管理 ～株式会社東芝 寄附講座～	新留 二郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>2001年9月の米国同時多発テロ以降、従来の「国対国」の安全保障輸出管理が「国対テロ組織・テロ支援国」に変貌した。首脳会談等で安全保障輸出管理の徹底が謳われ、2004年4月には国連安全保障理事会も「非国家」への大量破壊兵器(核兵器、生物・化学兵器、ミサイル等)の不拡散決議を採択し、加盟国での法制度の整備、執行の強化が義務づけられた。このためグローバル企業にとって安全保障輸出管理は重要な責務となっている。このような背景において、米国の外交・経済政策、安全保障の考え方、安全保障の脅威の対象は、国際的な安全保障輸出管理に大きな影響を与えるため、それらの構図と根底にある各国の意図を分析する能力を身につけることが必要である。そのため本講座ではこのような分析力を身につけるとともに、外為法や米国輸出管理法等の基本を習得することにより、グローバル企業で活躍することができる企業人を育成することを目的とする。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
—	当日分テキストを毎回配布		—	—
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	ガイダンス及び講義概要	なし		
2	安全保障と輸出管理の変遷	なし		
3	大量破壊兵器の拡散防止の歴史と各国の戦略1	なし		
4	大量破壊兵器の拡散防止の歴史と各国の戦略2	なし		
5	わが国の輸出管理の歴史と理念1	なし		
6	わが国の輸出管理の歴史と理念2	なし		
7	米国の輸出管理をめぐる議会と行政の相克	なし		
8	域外適用する米国輸出管理法の歴史と基礎	なし		
9	米国法に基づく輸出管理の実務1	なし		
10	米国法に基づく輸出管理の実務2	なし		
11	大量破壊兵器の基礎と欧州諸国の輸出管理制度	なし		
12	アジア諸国の不拡散協力と輸出管理	なし		
(試験)	中間レポート＋最終レポート提出			
成績評価 (Grading System)				
成績(100点満点)＝出席率(30点)＋中間レポート(30点)＋最終レポート(40点)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
株東芝(新留二郎)	キャッチオール輸出管理の実務(第2版)	日刊工業新聞社	2,400円	
新留二郎	米国輸出管理法の再輸出規制	日本機械輸出組合	7,000円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	MGT301	グローバル・マネジメント (Global Management)	中野 勉 (Tutomu Nakano)	
授業科目の概要 (Course Description)				
This course provides with a general overview of contemporary global management issues from a multinational perspective. Discussing a wide variety of issues comprehensively including both foundational and advanced topics, it takes a strategic approach while studying some topics in the area of organizational behavior in the multinational environment. It also applies an interactive and integrative approach, including discussions, quizzes, short cases, team projects, theoretical undertakings, and visual materials, among others.				
履修条件 (Prerequisite)				
A good command of reading English materials and positive stand as to engage in discussions actively in English (and in Japanese)				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
Cullen & Paboteeah	Multinational Management: A Strategic Approach (US 4 th edition) 購買会に入荷予定	Thompson/South-Western	¥ 8,200 (before 10% discount)	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	Global management overview	Ch 1		
2	Culture and management	Ch 2		
3	Institutional context of multinational management	Ch 3		
4	Multinational management and corporate strategy	Ch 4		
5	Participation strategies in the global arena	Ch 5		
6	Small business and regional clusters	Ch 6		
7	Organizational design for multinational companies	Ch 7		
8	Networks, international strategic alliances and M&As	Ch 8		
9	Multinational e-commerce	Ch 9		
10	International HRM and ethics	Ch 10, 11, 15 (will focus on one of these)		
11	Motivation and leadership in multinational companies	Ch 13, 14 (will focus on one of these)		
12	Group presentation			
成績評価 (Grading System)				
50% individual performance (quiz, class participation, in-class discussion) and 50% group work (discussion, final paper and presentation, peer review)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
浅川和宏	グローバル経営入門	日経、2003年	¥2,800	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MGT302	ゲーム理論とマネジメント	飯塚 敏晃
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>ゲーム理論は企業や組織の行動を理解するためのツールとして近年様々な分野に应用されている。企業の意思決定は外部の競争環境、特に競合企業の戦略に大きく左右されるが、ゲーム理論は相互依存関係下の各プレイヤーの行動を体系的に考察するツールを提供する。本コースでは、各人が相互依存的な環境下で「戦略的に考える力」を高めることを目的とし、理論と応用を反復しながら議論を進める。また、理論を経営の現場に应用する力を養う事を目的としたグループ・プロジェクトを実施する。(より詳細なシラバスを授業開始約1週間前に大学院事務室前のボックスに入れておくので、よく読んで最初の授業に臨むこと。)</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
107 ミクロ経済学/企業経営の経済学を履修済みのこと。「履修要件外科目」での履修及び聴講は認めません。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
MBA ゲーム理論	鈴木一功著	ダイヤモンド社	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)		
1	イントロダクション		
2	同時進行ゲーム		
3	交互進行ゲーム		
4	混合戦略		
5	寡占下での競争理論		
6	繰り返しゲーム		
7	Strategic moves		
8	情報非対称ゲーム		
9	プリンシパル・エージェントモデル		
10	オークション		
11	バーゲニング		
12			
成績評価			
グループレポート、プレゼンテーション、期末試験、クラスでの貢献など			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MGT303	競争戦略	牛島 辰男	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースでは、製品(サービス)市場における企業間競争と、そこでの戦略に関する理解深めることを目標とします。規模(市場シェア)やスピードといった代表的な競争のドライバーを順次取り上げ、それらが競争上の優位をもたらすのはいかなる状況か、実際に競争優位へと転化するには、どのような工夫が必要かを検討します。同時に、そうした優位を持つ競合に対して、持たない企業はどのように競争していくべきかを検討します。授業は講師による解説(講義)とケースシスカッションの併用で行います。テキストは下記に加えて、専門誌(HBRなど)掲載論文を適宜用います。なお、使用するケースは変更になることがあります。より詳細なシラバスをコース初日に配布します。				
履修条件 (Prerequisite)				
マネジメント(経営戦略)基礎、ミクロ経済学を履修済みであること				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
サローナー他	戦略経営論	東洋経済新報社	4800円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	モジュール1: 企業規模(マーケットシェア)と競争優位			
2	ケース) Airborne Express (A)			
3	モジュール2: 時間と競争優位			
4	ケース) ZARA: IT for fast fashion			
5	モジュール3: 累積規模と競争優位			
6	ケース) Apple Computer 2006			
7	モジュール4: 協力と競争優位			
8	ケース) Google, Inc.			
9	モジュール5: イノベーションと競争優位			
10	ケース) HP: The fight of Kittyhawk			
11	モジュール6: 競争構造の長期変化(産業進化)			
12	ケース) Brides Eye and the UK frozen food industry			
成績評価 (Grading System)				
クラス参加40%、レポート60%(20%×3本)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MGT304	企業戦略	牛島 辰男	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースでは複数の事業部門を持つ企業の全社的な戦略 (=企業戦略: corporate strategy) について、講師による解説 (講義) とケースディスカッションの併用により学習していきます。最初に垂直統合と産業多角化という2つの代表的な事業領域の拡大方式を順次取り上げ、取引費用や相乗効果 (シナジー)、企業優位、戦略と組織の整合性といった鍵概念を検討していきます。その上で、M&A や戦略提携といった領域拡大の手段、企業戦略の修正で生じてくる事業撤退・譲渡 (売却) の問題へと検討を進めます。使用するケースは変更になることがあります。より詳細なシラバスをコース初日に配布します。				
履修条件 (Prerequisite)				
マネジメント (経営戦略) 基礎				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	著者	著書名	
コリス+モンゴメリー	資源ベースの経営戦略論	東洋経済新報社	3800 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)			
1	モジュール1 : 垂直統合			
2	ケース) Sharp Corp.: Technology strategy			
3	モジュール2 : 多角化 (1) 事業ポートフォリオ			
4	ケース) GE: Jack Welch' s leadership			
5	モジュール3 : 多角化 (2) 経営資源とシナジー			
6	ケース) Walt Disney: Entertainment king			
7	モジュール4 : 合併・買収 (M&A) と戦略提携			
8	ケース) Cisco: Acquisition strategy for manufacturing			
9	モジュール5 : 戦略提携			
10	ケース) Renault-Nissan alliance			
11	モジュール6 : 企業リストラクチャリング			
12	ケース) IBM's decade of transformation (A): Turnaround			
成績評価 (Grading System)				
クラス参加 40%、レポート 60% (20%×3本)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価 格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MGT305	組織の戦略的デザイン	大湾 秀雄	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>ビジネス組織は、いくつものメカニズムが相互に影響を与えながら有機的に発展していく複雑なシステムである。組織が機能する過程にどういった経済要因が影響を与えていくのか、そこでのマネージメントの役割は何かを理解することは容易ではない。このコースの目的は、組織が直面する様々な問題を分析するのに必要な経済学的フレームワークを提供し、それを現実の問題へ応用する技術を習得することにある。組織をデザインする上で最も重要なポイントは、(1) 様々な企業内活動の間の適合または補完性をどう生み出すか、(2) いかにか意思決定者が正しい情報と正しいインセンティブを持つよう、権限の分配、コミュニケーション・チャネルの構築、報酬制度の確立、企業文化の醸成を図っていきけるか、の2点である。毎回講義ノートを配るので、それで理解できるものは、教科書を読む必要はない。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
Paul Milgrom & John Roberts	Economics, Organization & Management (邦訳 組織の経済学)		Prentice Hall (NTT 出版)	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	組織のパフォーマンスは何で決まるのか?	第1章、2章(1-3節)、Roberts 1章		
2	ヒエラルキーの誕生と経路依存性	第3章		
3	モラルハザードとエージェンシー理論	第6章、7章		
4	人的資本理論と職のデザイン	第10章、11章、12章		
5	ケース1: United Parcel Service (HBS case)			
6	限定的合理性、交渉と暗黙の契約	第5章		
7	チーム組織の役割: Adaptation vs Coordination	第4章(1-3節)		
8	インフルエンティア活動と補完性	第4章(4節)、8章、Roberts 2章		
9	ケース2: Portman Hotel (HBS case)			
10	取引コスト分析と企業の境界問題	第2章(4節)、9章、16章		
11	組織内イノベーション: Exploration vs Exploitation	Roberts 6章		
12	ケース3: Cisco Systems (HBS case)			
成績評価 (Grading System)				
ケース 30点、クラス参加 10点、期末試験 60点				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
John Roberts	The Modern Firm (邦訳 現代企業の組織デザイン 戦略経営の経済学)		Oxford (NTT 出版)	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MGT306	人事システムの設計	大湾 秀雄	
授業科目の概要(Course Description)				
このコースは人事システムの構築と人事管理において生じる諸問題を経済学的手法によって分析する。マネジメントが様々な局面で直面する人事上の問題は大きく分けて3つある。(1)従業員にやる気を起こさせるにはどうしたら良いのか?(2)良い人材を自社に惹きつけ定着させるにはどうしたら良いのか?(3)技術や市場環境を与件とした時に、資金、人材面で最も効率的な資源配分を達成する組織構造、人事システムとは何か?採用、報酬、研修、昇進、チーム組織、権限委譲、早期退職など人事制度の様々な要素を、上の3つの視点から分析していく。授業計画にあるケースは暫定的である。				
履修条件(Prerequisite)				
MGT305 組織の戦略的デザインを履修した者、もしくは事前に許可を取った者に限る。				
テキスト(Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
Edward Lazear	Personnel Economics for Managers (邦訳 人事と組織の経済学)	John Wiley & Sons (日本経済新聞社)		
授業計画(Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ(Topics)	事前準備箇所(Reading Assignment)		
1	研修制度と採用基準	第6、2章		
2	ケース1: Shinsei Bank			
3	逆選択とソーティング	第3章、4章		
4	シグナリングと業績給	第8章、5章		
5	ケース2: Lincoln Electric			
6	離職と解雇	第7章		
7	暗黙の契約と年功制	第11章		
8	ケース3: Brainard, Bennis & Farrell			
9	昇進制度と評価	第9, 10, 17章		
10	内発的モチベーションと福利厚生	第14, 15, 16章		
11	ケース4: ワークス・アプリケーションズ (未定)			
12	経営トップのための報酬制度			
成績評価(Grading System)				
ケース40点、クラス参加10点、期末試験50点				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MGT307	イノベーション・マネジメント	飯野 暢	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>新しい技術あるいは既存の技術を組み合わせた新規の事業を持続的に立案し、競争力のある企業とすることは経営者の使命である。しかし、企業がその分野で成功していてもある変化が生じたとき、常識的に正しい経営学的手法とアプローチを採用して事業を立ち上げようとしても市場における優位性が保てず失敗に至るケースが多々ある。</p> <p>講義では、正攻法を取ってきたつもりでの市場参入計画が「失敗」する多くの事例を分析することで、なぜ失敗するかを精査し、またどう対処すれば成功に導けるかを学ぶ。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
事前履修すべきコースはありません。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
クレイトン・クリステンセン (玉田 俊平太 監訳)	イノベーションのジレンマ - 技術革新が巨大企業を滅ぼすとき -	翔永社	2,100 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	インベンションとは、イノベーションとは、			
2	イノベーションと優良企業	テキスト 第1章		
3	バリューネットワークとイノベーション	テキスト 第2章		
4	破壊的イノベーション	テキスト 第3章		
5	下位市場から上位市場へのシフト	テキスト 第4章		
6	技術競争力維持のためのイノベーション政策	From Invention to Innovation - a survey report 別途資料を配布します。		
7	イノベーションを成功させる資源配分	テキスト 第5章		
8	破壊的技術と市場/組織の規模	テキスト 第6,7章		
9	事業化に必要な組織の能力	テキスト 第8章		
10	市場のニーズと過剰性能	テキスト 第9章		
11	破壊的技術のマネジメント	テキスト 第10章		
12	変化する市場とイノベーション			
成績評価 (Grading System)				
授業における発表、討論参加、出席で 65%、期末レポート 35%				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
一橋イノベーション 研究センター編	イノベーションマネジメント入門	日本経済新聞社	2,900 円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MGT308	新事業とベンチャー	前田 昇
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>情報技術が進む中で大企業やベンチャー企業が新規事業を立ち上げる上で最も重要なビジネスモデル構築やものづくりとサービスの融合、リアルとバーチャルの融合等に焦点を当て、最近のベンチャー企業や大企業の新事業成功・失敗事例を元に講義と討議を通してニュービジネスの戦略的な構築手法を学ぶ。</p> <p>大企業における“イノベーションのジレンマ”克服の為にベンチャーを活用した新事業創出手法であるコーポレート・ベンチャリングによる Win-Win 戦略等を学び、日本の企業・産業変革シナリオを討議する。</p> <p>日本と米国のベンチャービジネスの大きな違いを認識し、今後の日本ベンチャー創出・育成成功の鍵を、研究開発型、サービス型、インターネット型それぞれについて考え討議する。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
特になし			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	特になし		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	“イノベーションのジレンマ” PS 対 Wii、太陽電池	毎回、次回事前準備資料配布	
2	新事業開発とビジネスモデル アスクル対コクヨの戦い		
3	GE メディカルのビジネスモデルから学ぶ サービスで稼ぐ		
4	過疎地の農林業新規ビジネス 四国のいんどり成功の秘密		
5	講師の体験的社内ベンチャー ソニーのフェリカ IC カード		
6	デルのビジネスモデルの進化と停滞 その強さと弱さ		
7	日米欧ベンチャー比較と日本ベンチャーの問題点		
8	日本株式会社の新ビジネスモデルを探る 日米欧比較		
9	コーポレート・ベンチャリング 大企業とベンチャーの Win-Win		
10	ベンチャー企業失敗事例 5 社から学ぶ なぜ失敗が始まったか		
11	成熟市場における新製品開発、新事業構築 コマツ、ブラザー		
12	日米欧クラスター創出・発展におけるベンチャーの役割		
成績評価 (Grading System)			
討議を通じてクラスへの貢献度 20%、学期中の小レポート 20%、期末レポート 60%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
前田昇	スピンオフ革命	東洋経済新報社	1800 円
前田昇他	MOT ベンチャーと技術経営	丸善	3800 円
クリステンセン	イノベーションのジレンマ	翔泳社	2000 円
野中郁次郎・前田昇他	イノベーションとベンチャー企業	八千代出版	2900 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	MGT309	アントレプレナーシップ	熊平 美香
授業科目の概要 (Course Description)			
アントレプレニユアー（起業家）が直面する課題に対する解決策としてアントレプレニユアーシップ理論と実践を、講義、ケーススタディ、クラスディスカッションを通じて学びます。グループワークでは、ビジネスプランを構築し、実践への応用力を身につけます。			
履修条件 (Prerequisite)			
3年以上の職務経験			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	ケース（詳細追ってご連絡します）		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	イントロダクション	ワーキングシートを適宜配布	
2	アントレプレニユアー	"	
3	ビジネスのテーマ	"	
4	環境分析&ビジネスプラン	"	
5	戦略&ビジネスモデル（1）	"	
6	戦略&ビジネスモデル（2）	"	
7	売上・利益・キャッシュフロー	"	
8	資金調達	"	
9	創業期・転換期	"	
10	グループワークまたは起業研究 or ビジネスアイデアか	"	
11	グループワークまたは起業研究 or ビジネスアイデア	"	
12	最終発表と総括	"	
成績評価 (Grading System)			
① レポート提出 ケーススタディについてのレポート提出			
② グループワーク グループワークによる発表および提出資料、グループワークはビジネスプラン作成 または起業研究から選択			
③ グループディスカッション グループディスカッション：クラスにおける発言によるクラス学習貢献度（頻度と質による評価）			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
マイケル・E. ポーター	① 競争の戦略	ダイヤモンド社	¥5,913（税込）
	② チェンジ・リーダーの条件	ダイヤモンド社	¥1,890（税込）
ピーター・F. ドラッカー	③ パーミッションマーケティング	翔泳社	¥2,100（税込）
	④ キャズム	翔泳社	¥2,100（税込）
セス・ゴードン	⑤ スターバックス成功物語	日経BP社	¥1,800（税込）
ジェフリー・ムーア	⑥ Google 誕生・ガレージで生まれたサー	イーストプレス	¥2,400（税込）
ハワード シュルツ	チ・モンスター		
デヴィット バイス&マーク マルシード			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MGT310	産業組織と市場戦略	大湾 秀雄	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースでは、戦略論の理論的ベースとなっている経済学の一分野、産業組織論 (IO: industrial organization) を学習する。IO は、ミクロ経済学、とりわけゲーム理論を用いて、不完全競争下での企業行動を分析する。このコースの第1の狙いは、ゲーム理論を主たる分析ツールに持つ IO を体系的に学習することで、事業戦略を立案するマネージャーに必要な戦略的思考法を身につけることである。また市場参入と退出、価格・非価格競争、差別化戦略、広告、商品開発競争といったトピックについての理論的フレームワークを理解することで、戦略論やマーケティング論における議論に対して深い洞察力を得られることを目的とする。毎週グループ宿題を出す。				
履修条件 (Prerequisite)				
簡単な微分計算が出来、ゲーム理論の基礎 (ミクロ経済学107の内容) を身につけていること。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
Luis Cabral	Introduction to Industrial Organization.	MIT Press.		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	ミクロ経済学の基礎レビュー	第1, 2, 4章		
2	独占	第5章		
3	完全競争と独占的競争	第6章		
4	寡占モデル: ベルトラン、クールノー均衡	第7章		
5	結託 (協調) と価格戦争	第8章		
6	市場行動と独占パワー	第9章		
7	価格差別	第10章		
8	製品差別化	第12章		
9	広告と非価格競争	第13章		
10	参入・退出・戦略的行動	第14、15章		
11	商品開発競争と特許	第16章		
12	ネットワークと標準	第17章		
成績評価 (Grading System)				
グループ宿題 10 回計 40 点 (1 回あたり 4 点)、試験 60 点。				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MGT311	ビジネスとネットワーク組織 (Networks and Organizations in Business)	中野 勉
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>われわれの社会の基本単位を個人、チーム、会社、国家などをひとつのノード(node)として捉えた時に、個人や組織は実に色々なフォーマルまたはインフォーマルな社会的なネットワークに帰属し、ビジネス世界が展開されている。経済社会学的な視点からは、このような関係性や制度化されたネットワークが、個人間・組織内・組織間などで大きな影響力を持ち、眼に見えない社会構造として、意思決定や組織のダイナミクス、経営の効率性に大きな影響を与えている。現代ビジネスにおいて、どのような社会的なネットワークが存在し、それらはビジネスの世界にどのような意味と影響を持っているのか。このセミナーは経済社会学の立場から、組織論、組織行動、社会ネットワーク分析、新制度論、「埋込み」、戦略論などの概念を使い、企業の枠を超えたさまざまな組織のネットワークに関する理解を深めることを目的とする。中でもコミュニティー、友人関係と職場関係、求職、市場と評判、株式持合いと企業系列、組織構造、経営戦略、ヴァリューチェーン、事業提携、地域クラスターとイノベーション、アントレプレナーシップなどの諸問題を扱う。授業では、英文を主に一部日本語での学術的な理論研究や実証研究を広範に読み込み、ディスカッションを通じてネットワーク分析や制度論の組織論や経営戦略分野への応用を考える。</p> <p>This seminar-style course provides with methodological and theoretical frameworks as to understand issues relevant to business organizations, including intra-firm and inter-firm relationships, from social network-analytical perspectives. A foundational approach is sociological which often focuses on both formal and informal, institutions and embedded relationships among actors as social structural and dynamic mechanisms of decision-making and their strategic implications. In this seminar course, we will discuss impacts, implications and social meanings of these networks and emergent institutions, which affect our business world extensively and deeply today, including analytical foundations and frameworks. We will read, mainly in English and partially in Japanese, theoretical and empirical studies on management and behavior, strategic alliances, business groups, markets and reputation, regional clusters and innovations, organization structure and culture, institutionalized competition and coordination mechanisms, among others.</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
A good command of reading English materials; mindset to appreciate academic endeavors and deeply intellectual research studies; and positive stand as to engage in discussions actively in Japanese.			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
TBD	Book chapters and academic papers (TBD)		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1-12	主に英文、一部に日本語の学術論文を使い、主に日本語、時に英語を交えてのディスカッションを行います。受講生によるトピックに関しての短い発表を予定。詳細は最初の授業で	毎回指定されたものを事前に読むこと	
成績評価 (Grading System)			
Class participation, engagement in discussions, a shot in-class presentation and a term paper			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
TBD			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	MGT312	人材マネジメント	須田 敏子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>人材マネジメント (Human Resource Management=HRM) には、人事システムの設計など人事部門が行う領域とライン管理者が行う日々のマネジメントが入りますが、本科目は人事部門が企画・実行する人事管理分野に焦点をあてています。</p> <p>本科目では、①SHRM(Strategic Human Resource Management)、②日本型 HRM と HRM の国際比較、③雇用、採用、評価、社員格付け (等級)、賃金システムなどの機能別 HRM、の3分野を取り上げます。①については、欧米における近年の SHRM の急速な発達をとらえて、SHRM の理論的背景や具体的アプローチなどを紹介します。②については、日本型 HRM の特色、日本型 HRM の特色が形成・維持された原因、さらに近年の変化をとらえて日本型 HRM の変化の原因を議論します。また日本型 HRM の対極にあるアングロサクソン型 HRM を中心に HRM の国際比較も行ないます。③については、雇用、採用、人材開発、評価、社員格付け (等級)、賃金システムなど機能別 HRM の各論について基本的な内容を紹介すると同時に、企業事例を用いて、実際の企業での動向を紹介しします。</p> <p>本科目の目的は以上の内容によって、(1) 企業経営の視点から HRM を設計するための基本的な知識 (① SHRM と②日本型 HRM と HRM の国際比較のパートで扱う)、(2) 機能別 HRM の各論に対する基本的な知識 (③の機能別 HRM のパートで扱う)、を習得することにあります。</p> <p>第1回目の授業時により詳細のシラバスを配布し、コース全体の説明をしますので、第1回目の授業には必ず出席してください。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
「組織行動」を履修していること。第1回目の授業に出席すること。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
須田敏子	HRM マスターコース	慶應義塾大学出版会	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	SHRM(Strategic Human Resource Management) HRM のコンセプト開発と初期モデル SHRM モデル など		
2	日本型 HRM と HRM の国際比較 日本型 HRM の特色 日本型 HRM とアングロサクソン型 HRM の比較 日本型 HRM の近年の変化 など		
3	機能別 HRM 雇用、採用、人材開発、評価、社員格付け、賃金システム など		
成績評価 (Grading System)			
出席、アサインメントなどを総合評価します。成績評価の詳細は第1回目の授業時に説明します。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
授業時に参考文献を紹介しします。			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	MKT301	グローバル・マーケティング	前田 昇	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>日本が得意とする自動車や電気製品等の製造業だけでなく、金融、流通、サービス、薬品等あらゆる日本企業がグローバル化の嵐の中にある。ホンダやソニーといえども欧米先進グローバル企業と比べると大きな遅れがある。日本が先行する携帯電話サービス事業でも世界への道ははるかに遠かった。ベンチャー企業もグローバル化の行動無しでは生き残れ無い。一昔前の日本企業国際化の時代は終わった。</p> <p>そのような状況の中で、日本企業のグローバル化の歴史を新たな視野で学び直し、欧米先進グローバル企業と比較し、中国等の新市場をも開拓する上でのグローバルな視野に立った市場分析、商品開発、販路開拓、人材育成、新事業開発等を新たなグローバル競争戦略としてとらえ、講義と具体的事例での討議を通して理解を深め、マーケティング視点での新時代のグローバル見識を磨く。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
前田 昇	自立結合国際戦略	同友館	2600 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	問題提起：なぜ日本の携帯電話は世界市場でマイナーなのか？	毎回、次回事前準備資料配布		
2	日本企業の海外進出の歴史から学ぶ (ソニー、ホンダ)			
3	国際化の歴史をどうとらえるか？ “Who is US” の世界と国家			
4	グローバル市場開発 (ブリジストン、旭硝子、ABB)			
5	グローバル商品開発 (コマツ、エーザイ、P&G)			
6	商品特性格、地域別グローバルマーケティング・アプローチ			
7	花王と資生堂のグローバル化戦略比較 ー成功・失敗要素比較			
8	グローバル視点での新規事業開発 (ブラザー工業、シマノ)			
9	流通産業の海外展開 (セブンイレブン、カルフル、ウォルマート)			
10	ベンチャー企業のグローバル戦略 (サンテック、楽天、グーグル)			
11	中国市場への挑戦 (日米欧グローバル企業の対応、中小企業の対応)			
12	日米欧中グローバル競争 10年後リーダーとして生き残るのは？			
成績評価 (Grading System)				
討議を通じてクラスへの貢献度 20%、学期中の小レポート 20%、期末レポート 60%				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
バートレット他	MBA のグローバル経営	日本能率協会	2600 円	
盛田昭夫	Made in Japan わが体験的国際戦略	朝日新聞社文庫	920 円	
竹田志郎	日本企業のグローバル市場戦略	中央経済社	3000 円	
根本重之他	グローバル・リタイラー	東洋経済	1800 円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MKT302	マーケティング環境	松浦 祥子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>企業のマーケティング活動は、企業を取り巻く市場環境の影響を受ける。市場環境要因は、人口動態、経済、政治／法律、技術、自然環境、社会／文化などのマクロ環境要因と、顧客、競合他社、流通／供給業者に関連するミクロ環境要因に分けられる。</p> <p>成功している企業は、これらの市場環境の変化が常に新しい市場機会と脅威を創出していることを認識した上で、絶えず市場環境の変化を観察し、変化の動向に適合しながらマーケティング活動を展開している。</p> <p>本授業では、ナンシー・ケーン著『ザ・ブランド』をテキストとして使用し、テキストに登場する歴代の6人の起業家が、産業革命、輸送・通信革命、情報革命といった歴史的な時代の変化の下で、環境の変化がもたらす市場機会と消費者ニーズをどのように捉え、変化に対応するためにどのような新しいビジネス・モデルやマーケティング手法を導入して事業・ブランドを構築していったか、について学ぶ。と同時に、それらの事業・ブランドに影響を与える今日の市場環境要因を分析する。</p> <p>授業は、毎回レポーターによるプレゼンテーションと受講者間のディスカッションの形式で進める。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
「マーケティング」を既に履修しているか、または、同時に履修していること。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
ナンシー・ケーン 樫村志保 訳	「ザ・ブランドー新しいビジネスを興した起業家達の物語」	翔泳社	¥2,500
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ガイダンスとイントロダクション：マーケティングとマーケティング環境	テキスト第1章、コトラー「マーケティング・マネジメント」第5章	
2	ジョサイア・ウェッジウッド (ケース要約発表)	テキスト第2章	
3	H. J. ハインツ (ケース要約発表)	テキスト第3章	
4	今日の関連市場環境要因分析 (演習)		
5	マーシャル・フィールド (ケース要約発表)	テキスト第4章	
6	今日の関連市場環境要因分析 (演習)		
7	エスティ・ローダー (ケース要約発表)	テキスト第5章	
8	今日の関連市場環境要因分析 (演習)		
9	ハワード・シュルツとスターバックス (ケース要約発表)	テキスト第6章	
10	今日の関連市場環境要因分析 (演習)		
11	マイケル・デル (ケース要約発表)	テキスト第7章	
12	今日の関連市場環境要因分析 (演習)		
成績評価 (Grading System)			
授業への出席とプレゼンテーションを重視。期末に実施するレポートの点数とあわせて総合的評価。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
フィリップ・コトラー	「コトラーのマーケティング・マネジメントーミレニアム版」	ピアソン・エデュケーション 2001年	¥8,000

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MKT303	消費者購買行動	MAYHEW, G. E.	
授業科目の概要 (Course Description)				
The course will cover 1) the psychological foundations of consumer behavior, 2) the internal determinants of consumer behavior and the external influences on consumer behavior, and 3) how consumer behavior can be influenced by marketing. An understand of consumer behavior brings insight into every aspect of consumer marketing.				
履修条件 (Prerequisite)				
マーケティング基礎				
テキスト (Required Textbook)				
著者		著書名	出版社	価格
Blackwell, D'Souza, Taghian, Miniard, and Engel		Consumer Behavior: An Asia Pacific Approach	Thomson	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	Consumer Behavior and Business Strategy		1, 2	
2	The Consumer Decision Process		3	
3	Case: Introducing New Coke			
4	Pre-Purchase Processes		4	
5	Purchase		5	
6	Case: GOME Electrical Appliances Holding Limited			
7	Post-Purchase Processes		6	
8	Case: TiVo in 2002: Consumer Behavior			
9	Individual Determinants of Consumer Behavior		7-10	
10	Environmental Influences on Consumer Behavior		11-13	
11	Case: Kraft Foods: The Coffee Pod Launch		14-16	
12	Case: Building Brand Community for Harley-Davidson			
成績評価 (Grading System)				
Term paper (40%), five group case write-ups (50%), and class participation (10%)				
参考書				
著者		著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MKT304	マーケティング・リサーチ	岡橋 孜	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>マーケティングがその主体組織（メーカー）による商品・サービス、市場および消費者への働きかけだとすると、マーケティングリサーチはそれらについての理解把握および洞察を得るための技法の一つである。本授業では、メーカーすなわちリサーチのユーザーの視点から、マーケティングおよび関連の企業・組織活動に応用されるリサーチの考え方と手法についての知識習得を、可能な限り実践的および双方向的な学び方で行うとともに、WEB2.0時代の企業マーケティング環境のもとでのマーケティングリサーチの将来展望を、欧米での論調のレビューとともに試みる。（なお、下記の授業計画は履修生の志向や関心によってはフレキシブルに対応する）</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
他のマーケティング関連科目（消費者購買行動、ブランド戦略、マーケティングコミュニケーションなど）および統計学の並行履修が望ましい。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
上田拓治	マーケティングリサーチの論理と技法		日本評論社	3,300円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	マーケティングパラダイム変化とリサーチの役割	テキスト序章		
2	マーケティングリサーチの課題設定	(以下授業の中でアサインする)		
3	調査設計			
4	探索的リサーチ			
5	記述的リサーチ			
6	測定と尺度			
7	データ収集と分析			
8	結果報告・プレゼンテーションと意思決定への反映			
9	企業活動とリサーチ			
10	マーケティングリサーチの職業倫理			
11	国際的マーケティングリサーチ			
12	マーケティング環境変化に伴うリサーチの将来展望			
成績評価 (Grading System)				
クラスへの参画 (40) 期中アサインメント評価 (20) 最終試験 (40)				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
ナレシュ・K・マルホトラ ドーン・イアコブッチ編著	マーケティングリサーチの理論と実践-理論編、-技術編 マーケティング戦略論（特に第二部）		同友館 ダイヤモンド社	各 9000円 3800円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MKT305	新製品開発	岩成 和子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>この授業では、新製品開発のケーススタディを一緒につくる作業を行なう。ケース対象は最近ヒットした新製品・新サービスの中からいくつかを選択する。この場合、岩成がネットワークを持つ企業に限定されることをご承知おき願いたい。この作業は何人かのチームで行なう。</p> <p>この作業の目的は、新製品・サービスの現場に触れ、各自のマーケティング & マネジメント知識・理論を進化させることにある。進化の源はケース企業のマーケターならびに受講者全員との活発なコミュニケーションにあるので、ケーススタディづくりの過程での議論を重視する。</p> <p>●<u>ケーススタディづくりの方法</u>：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケース(企業)を設定、担当者(チーム)を設定する。 ・ 担当者は各ケースに関する既存資料を収集・分析する。 ・ ケース企業のマーケターに授業時間にレクチャーいただくか、企業訪問を実施する。 ・ 上記の成果から、担当者が分析視点を定め、授業時に議論する。 ・ 上記の議論から得たものを深耕し、各担当者がケーススタディをつくる。 ・ ケーススタディをパワーポイントを用いて報告する(期末報告会にて)。 ・ ケーススタディをレポートにして提出する。 <p>●<u>2007年のケーススタディ実績</u>：</p> <p>① 「花王」研究 —アタックALL in & アジエンズ— <担当2人></p> <p>② 「キッコマン」研究 —アメリカへ進出の挑戦— <担当2人></p> <p>③ 「NEC ビッグロブ」研究 —BIGLOBE 事業価値最大化に向けて— <担当2人></p> <p>④ 「ホンダ」研究 —HONDAJET 開発 & 次世代エンジン開発— <担当2人></p>			
履修条件(Prerequisite)			
<p>企業訪問が授業時間以外になる場合があることを理解すること。1チーム2人程度で1つのケースを担当する予定にしている。 *企業のマーケター & 受講者との議論を楽しんで欲しい！</p>			
テキスト(Required Textbook)：2006年、2007年のケーススタディを紹介する。			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ(Topics)	事前準備箇所(Reading Assignment)	
1	ガイダンス		
2	今、新製品とは何かを考える。		
3	ケースに関するレクチャー1		
4	ケースに関するレクチャー2		
5	ケースに関するレクチャー3		
6	ケースに関するレクチャー4		
7	ケーススタディ材料討論1	各担当者が準備	
8	ケーススタディ材料討論2	各担当者が準備	
9	ケーススタディ材料討論3	各担当者が準備	
10	ケーススタディ材料討論4	各担当者が準備	
11	まとめ		
12	ケーススタディ発表(報告会は試験期間に行なう)		
成績評価(Grading System)			
<p>ケーススタディ作成(レポートとして提出)とその報告を義務つける。 授業への参加姿勢、レポート & 報告内容にて成績を評価する。</p>			
参考書：適時、紹介する。			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MKT306	ブランド戦略	松浦 祥子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>今日の企業経営における最重要課題の一つは、ブランド・エクイティ(ブランド資産)の向上による企業価値の向上である。ブランドは、消費者(顧客)だけでなく、株主、従業員、取引先を含むすべてのステークホルダーとのリレーションシップを強化する役割を担うものとして、その重要性和関心が高まっている。ブランドは、顧客やステークホルダーのパーセプションの中で形成されるものであり、企業の行うブランド・マネジメントの如何によって強くも弱くもなり得る。</p> <p>授業では、ブランドを企業の「無形の経営資源」と捉え、長期的な競争優位の源泉となるブランドを構築するためのブランド・マネジメントはどうあるべきかをテーマとし、その基本的考え方からブランド戦略の立案と実行までを学習する。前半は、テキストの解説を中心とした講義、後半は、ケース使用による演習、ゲストスピーカーによる事例プレゼンテーションを織り交ぜて行う予定。テキストの予習、およびケーススタディの Assignment 準備が義務づけられる。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
経営に関する基本的な知識とブランド・マネジメントに対する関心を持っていること。 「マーケティング基礎」をすでに履修している方が望ましい。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
D. A. アーカー、他著 阿久津 聡 訳	「ブランド・リーダーシップー 『見えない企業資産』の構築」	ダイヤモンド社 2000年	¥ 2,800
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	イントロダクション: ブランドの意味と企業経営におけるブランドの重要性和役割		
2	ブランド・エクイティとブランド・マネジメント	テキスト第1章	
3	ブランド・アイデンティティ: ブランド戦略の基礎	テキスト第2章、第3章	
4	ブランド・アイデンティティの規定 (演習)		
5	ブランド体系とブランド拡張	テキスト第4、5章	
6	ブランド構築活動	テキスト第6~9章	
7	BtoB (生産財) のブランド構築事例 (ケース演習)	HBS Case: "Inside Intel Inside"	
8	インターナル・ブランディングとブランド・コンタクトポイント管理	配布資料: リッツ・カールトン事例	
9	コーポレート・ブランド構築事例 (ゲストスピーカー予定)		
10	グローバル・ブランド構築事例 (ケース演習)	HBS Case: "Samsung Electronics Co.: Global Marketing Operations"	
11	ブランド・エクイティの測定	参考書「ブランド評価と価値創造」	
12	ブランド価値評価の実際 (ゲストスピーカー予定)		
成績評価 (Grading System)			
授業への出席と参加度を重視。授業テーマに関するレポート、期末レポートの点数をあわせて総合的評価。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
デービッド A. アーカー	「ブランド優位の戦略」	ダイヤモンド社 1997年	¥ 4,620
ケビン L. ケラー	「戦略的ブランド・マネジメント」	東急エージェンシー 2000年	¥ 6,300
スコット M. デビリス マイケル・ガン	「ブランド価値を高めるコンタクト・ポイント戦略」	ダイヤモンド社 2004年	¥ 2,400
刈屋武昭編著	「ブランド評価と価値創造」	日経広告研究所 2005年	¥ 2,300

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	MKT307	価格戦略	MAYHEW, G. E.	
授業科目の概要 (Course Description)				
1) Optimal prices depend on costs. We will discuss which costs are relevant in pricing decisions and how they should be used in determining optimal prices. 2) Finding the optimal price requires an understanding of how sales change with price changes. This is a function of both consumer and competitor behavior. We will cover broad principles for anticipating competitive behavior. 3) Segmentation is often key to profitability. We will discuss segmentation from a pricing point of view, with discussion of the legal and ethical ramifications of price discrimination.				
履修条件 (Prerequisite)				
マーケティング基礎				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
Nagle and Hogan	The Strategy and Tactics of Pricing: A Guide to Growing More Profitably	Pearson		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	Strategic Pricing	1, 2		
2	Value Creation, Price Structure	3, 4		
3	Price and Value Communication, Pricing Policy	5, 6		
4	Price Level, Costs, Competition	7, 8, 10		
5	Economic Value Analysis - Case: Cumberland Metal Ind.			
6	Transfer Pricing - Case: Transfer Pricing at Timken			
7	Strategic Pricing - Case: Marlboro Friday (A)			
8	Pricing Over the Product Life Cycle	12		
9	Segmentation - Case: Priceline.com			
10	Pricing in Distribution Channels	11		
11	Network Pricing - Case: Yamato Transport (A)			
12	Pricing ethics - Case: Pharmaceutical Ind. and AIDS Crisis	14		
成績評価 (Grading System)				
Final exam (40%), five group case write-ups (50%), and class participation (10%)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	MKT308	マーケティング・チャンネル	懸田 豊
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>マーケティング・チャンネルは自社製品の商流・物流・情報流のフローとしてきわめて重要であり、持続的な競争優位を構築するために改めてそのあり方が議論されねばならない。チャンネル戦略の意思決定課題は、チャンネル開発とチャンネル管理といった領域に分けられるが、チャンネル開発には長期的な視点と相互依存的な意思決定が必要とされ、チャンネル管理にはマーケティング目標達成のためのチャンネル・メンバーとの関係性が重視されねばならない。本講義では、まずチャンネル戦略の基本的な枠組みを整理し、わが国固有のチャンネル戦略の特性を理解した上で、チャンネル・マネジメントのプロセスについて講義する。チェーンストアの成長と情報化の進展といったマーケティング環境の変化のなかで新たなチャンネル戦略の方向性についても検討する。講義とケースメソッドを併用した授業となるが、事前配布資料およびケースの十分な予習と出席が義務付けられる。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
マーケティングの基本が理解されていることが望ましい。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
特に指定しない			
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ガイダンス		
2	チャンネル戦略の基本的枠組み	配布資料：講義	
3	日本型マーケティングとチャンネル戦略	配布資料：講義	
4	流通構造の変化とチャンネル戦略	配布資料：講義	
5	日本的取引慣行とチャンネル戦略	配布資料：講義	
6	環境変化とチャンネル戦略 (1)	月桂冠 (Ⅱ)	
7	環境変化とチャンネル戦略 (2)	資生堂	
8	環境変化とチャンネル戦略 (3)	ハウスオブローゼ	
9	産業財マーケティングとチャンネル戦略	ミスミ	
10	関係性マーケティングとチャンネル戦略	セブンイレブンと味の素	
11	ネット・チャンネルの構築	フレッシュシステム	
12	まとめ		
成績評価 (Grading System)			
授業への出席・貢献40%、中間レポート30%、最終試験30%を目安に総合的に評価する			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
P. コトラー	マーケティング・マネジメント		

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	MKT309	マーケティング・コミュニケーション	松浦 祥子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>マーケティング・コミュニケーションは、従来はマーケティング・ミックス(4P)の一つとしてプロモーションとほぼ同義に扱われてきたが、今日では、マーケティング・ミックスすべてにおけるコミュニケーション要素を包含するものとして、より広義に捉えられるようになってきている。また、インターネットの進展は、従来のマスメディア広告中心のコミュニケーションのあり方を根本的に変えつつある。今日の企業のマーケティング・コミュニケーションにおける最も重要な課題は、企業の重要な資産であるブランドの価値を高めるために、これらのメディアの統合化を図りコミュニケーション活動をいかに有効に展開するかである。</p> <p>このような課題に応えるために、本授業では、IMC (統合型マーケティング・コミュニケーション) の考え方、マーケティング・コミュニケーションの基礎理論、広告戦略と広告表現 (クリエイティブ)、グローバル化、デジタル化とマーケティング・コミュニケーションの課題などを、テキストを基に事例を交えながら学習する。授業は実務的な内容とし、適宜、広告クリエイター、メディアプランナーなどの実務専門家をゲストに招く予定。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
「マーケティング基礎」を既に履修しているか、または、同時に履修していること。			
テキスト (Required Textbook)			
	著者	著書名	出版社 価格
①	岸志津江・田中洋・嶋村和恵	「現代広告論」(改訂版)	有斐閣 2008年4月 未定
②	嶋村和恵監修	「新しい広告」	電通 2006年 ¥2,100
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ガイダンスとイントロダクション: マーケティングとマーケティング・コミュニケーション		
2	IMC とブランド・コミュニケーション	テキスト	
3	マーケティング・コミュニケーションの組織	テキスト	
4	広告計画と調査	テキスト	
5	広告戦略プランニング—ターゲティングとポジショニング	テキスト	
6	広告戦略プランニングとコンシューマーインサイトの実際	テキスト	
7	広告表現戦略 (クリエイティブ) (ゲストスピーカー予定)	テキスト	
8	媒体戦略 (メディア・プランニング) (ゲストスピーカー予定)		
9	広告コミュニケーション効果の測定	テキスト	
10	インターネットによるショートフィルム・キャンペーン事例 (ケース演習)	HBS Case: "BMW Films"	
11	クロスメディア・キャンペーン事例 (ゲストスピーカー予定)		
12	マーケティング・コミュニケーションの今後の課題とまとめ		
成績評価 (Grading System)			
授業への出席と参加度を重視。期末に実施するレポートまたは試験の点数とあわせて総合的評価。			
参考書			
	著者	著書名	出版社 価格
	T.ダンカン・S.モリアルティ	「ブランド価値を高める統合型マーケティング戦略」	ダイヤモンド社 1999年 ¥2,520
	D. E. シュルツ・H. シュルツ	「ドン・シュルツの統合マーケティング」(原著 IMC: The Next Generation)	ダイヤモンド社 2005年 ¥3,360
	横山隆治	「インターネット広告革命」	宣伝会議 2005年 ¥1890

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	MKT310	サービス・マーケティング	岩成 和子
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>この授業は、様々なサービスビジネス展開を注意深く観察することを通じて、サービス・マーケティング理論の理解と新展開の方向性を探ることを目的とします。そのために、以下のような授業方法を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「サービス・マーケティング研究の発生」から「現在のサービス・マーケティング研究の特徴的な視点である双方向性」までを流れをたどりながら、サービス・マーケティング研究を進化させていくための議論を実施する。 2. 授業参加者ご自身が生活者(顧客)視点をもって顧客満足が作られている生産現場(サービスビジネス)を観察し、そこからの問題意識を持ち寄ることで、1の理論視点の現実での有効性を検討したい。具体的には、参加者各自が、「新規サービスビジネス企画作成」もしくは「既存のサービスビジネスの分析」を実施し、授業で発表し合い・議論し合うという形式をとる。授業末にそのレポートを提出する。 <p>2007実績: ティップネス研究、セブンイレブンのサービスの進化研究、伊勢丹の顧客主義研究</p>			
履修条件(Prerequisite)			
サービスのビジネスは身の回りに多数存在します。興味を持って観察することをしながら授業に参加していただきたい。			
テキスト(Required Textbook) ⇒参考図書については、授業中にご紹介します。			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ(Topics)	事前準備箇所(Reading Assignment)	
1	サービス・マーケティングとは何か?		
2	サービス・マーケティングの理論1		
3	サービス・マーケティングの理論2		
4	サービス・マーケティングの理論3		
5	ケース報告(岩成が用意)		
6	ケース報告(岩成が用意)		
7	全体討論		
8	発表1回目(担当者1または担当者グループ1)		
9	発表2回目(担当者2または担当者グループ2)		
10	発表3回目(担当者3または担当者グループ3)		
11	発表4回目(担当者4または担当者グループ4)		
12	まとめ		
成績評価(Grading System)			
「新規サービスビジネス企画作成」もしくは「既存のサービスビジネスの分析」の報告とレポートを義務つける。授業への参加姿勢、レポート&報告内容にて成績を評価する。			
参考書: 適時、紹介する。			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	MKT311	インターネット・マーケティング	進藤 美希
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>インターネット時代のマーケティングを扱う。新たなビジネスモデルの設計・構築と運用、価値の創造と伝達に焦点を当てる。それらの理論と実際を考察していく。</p> <p>インターネットマーケティングは黎明期にあり、体系が確立しているとは言えない。そのため、参加者には新たなマーケティング体系の創造に寄与していく姿勢が求められる。</p> <p>授業は、講義、事例の吟味、討議、発表を適宜組み合わせで行う。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
特にないが、マーケティングの基礎を理解していることが望ましい。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
ハンドアウト			
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	(1)基礎 1-1 インターネットマーケティングのフレームワーク		
2	1-2 ビジネスモデルの設計		
3	1-3 オープンイノベーション		
4	(2)4Ps 2-1 Product: 情報財の製品開発		
5	2-2 Price: インターネット上の価格設定/課金		
6	2-3 Place: B2C/B2B チャンネル、チャンネルコンフリクト		
7	2-4 Promotion: プロモーション技法		
8	(3)学生による中間プレゼンテーション		
9	(4)応用 4-1 モバイル/ユビキタスインターネット		
10	4-2 メディアの進化		
11	4-3 オープンソースビジネス		
12	4-4 デジタルエンタテインメント		
	最終レポート提出		
成績評価 (Grading System)			
出席と授業への貢献、提出課題、中間プレゼンテーション、最終レポートにより総合評価する。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
教室で指示			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A301	コーポレート・ファイナンス	高橋 文郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースは、企業財務理論の基礎として、資本市場における証券価格の評価と企業の財務的意思決定に関するフレームワークを理解することを目標とする。企業が行う事業投資、資金調達、分配政策（配当と自社株買い）が企業価値にどのような影響を与えるかという問題が講義の中心的なテーマになる。講義以外に、演習やケース討論を行って授業を進める。参加者には、日本企業の価値創造についての分析を学期中の小レポートと期末の最終レポートの課題として課す。				
履修条件 (Prerequisite)				
アカウンティング基礎およびファイナンス基礎の既習者				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
井手正介・高橋文郎	ビジネス・ゼミナール 経営財務入門	日本経済新聞出版社	3,600 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	企業財務のフレームワーク・資産価値の評価	経営財務入門 第5章		
2	株式の評価	経営財務入門 第6章		
3	リスクの評価(1)	経営財務入門 第7章		
4	リスクの評価(2)	経営財務入門 第7章		
5	資本コスト	経営財務入門 第8章		
6	EVAによる業績評価	経営財務入門 第24章		
7	投資の決定方法(1)	経営財務入門 第10章		
8	投資の決定方法(2)	経営財務入門 第10章		
9	投資決定のケース	経営財務入門 第10章		
10	資本構成の決定	経営財務入門 第12章		
11	配当政策と自社株買い	経営財務入門 第13章		
12	まとめ			
成績評価 (Grading System)				
出席状況 20%、学期中の小レポート 20%、期末レポート 60%				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	F&A302	国際ファイナンス	武田 澄広
授業科目の概要 (Course Description)			
International Financial Management について学ぶ。前半では、国際金融市場の現状を中心に学び、後半では、その中での企業のファイナンス運営について学ぶ。ケース・スタディーも取り入れる。授業前のテキストの読み込みが、不可欠である。			
履修条件 (Prerequisite)			
「ファイナンス基礎」			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
David K. Eiteman et al.	Multinational Business Finance, 11 th ed. (2006) International Edition (Soft Cover)	Addison Wesley	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	Introduction Chap.1. Comparative Corporate Governance and Financial Goals		
2	Chap.1. Comparative Corporate Governance and Financial Goals <u>P.23 Mini-case Enron</u>		
3	Chap.2. International Monetary System. Chap.3. Balance of Payments. (p.68-p.80)		
4	Chap.3. (p.81-p.91)(p.96-p.98) Chap.4. International Parity Conditions. Chap.5. Foreign Exchange Rate Determination and Forecasting (p.141-148)		
5	Chap.5. (p.149-) Chap.6. Foreign Exchange Markets. <u>P.59 Revaluation of Chinese Yuan</u>		
6	Chap.7. Foreign Currency Derivatives.		
7	Chap.8. Transaction Exposure. Chap 10 Appendix A (P.365)		
8	<u>P.274 Mini-Case Xian-Janssen Pharmaceutical and the Euro</u> Chap.11. Global Cost and Availability of Capital.		
9	<u>P.398 Mini-case Petras of Brazil</u> Chap.12. Sourcing Equity Globally.		
10	Chap.13. Financial Structure and International Debt. Chap.14. Interest Rates and Currency Swaps		
11	Chap.15. International Portfolio Theory and Diversification Chap. 18. Appendix (p.607)		
12	Chap.19. Cross-Border Mergers, Acquisitions, and Valuation		
成績評価 (Grading System)			
授業参加度	50%	課題	50%
注： この科目を履修予定の人は、教科書を各自、事前に調達しておくことをお勧めします。大学の購買会で注文すれば、最長1ヶ月から1ヶ月半かかりますが、普通の書店で買うより1割引で購入できます。			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	F&A303	インベストメント	武田 澄広
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>ポートフォリオ理論、CAPM にはじまる現代投資理論は、最近、10 年ほどの間に起こった行動ファイナンスに代表される実証研究等の成果によって修正を迫られている。この科目では現代投資理論の現在を概観し、その結果を踏まえた投資技術を学ぶ。</p> <p>使用するテキストは、米国の MBA で標準的に利用されている教科書であり、また、Chartered Financial Analyst (CFA) 試験の問題集としても使われている。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
「ファイナンス基礎」			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
Bodie, Kane, and Mrcus	Investments 7 th , (Soft Cover)	McGraw-Hill	¥7,035
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	リターン、分散・共分散 Chap. 5 Learning about return and risk from the historical record		
2	リスク資産 Chap 6 Risk Averse and capital allocation to risky assets Chap 7 Optimal Risky Portfolios		
3	インデックス・モデル Chap 8 Index Model		
4	CAPM Chap 9 The capital asset pricing model		
5	APT, その他 Chap 10 Arbitrage pricing theory and multifactor models of risk and return		
6	市場効率仮説 Chap 11 The efficient market hypothesis		
7	行動ファイナンス Chap 12 Behavioral Finance and technical analysis		
8	実証研究 Chap 13 Empirical evidence on security returns		
9	ファインダメンタル分析 Chap 17 Macroeconomic and Industry analysis Chap 18 Equity valuation models		
10	パフォーマンス評価 Chap 24 Portfolio performance evaluation		
11	アクティブ投資 Chap 27 The theory of active portfolio management		
12	国際投資 Chap 25 International Diversification		
成績評価 (Grading System)			
授業参加度	50%	課題	50%
<p>注： この科目を履修予定の人は、教科書を各自、事前に調達しておくことをお勧めします。大学の購買会で注文すれば、最長 1 ヶ月から 1 ヶ月半かかりますが、普通の書店で買うより 1 割引で購入できます。</p>			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A304	応用コーポレートファイナンス	高橋 文郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
企業財務理論の基礎を学習した者を対象に、企業財務の最新の理論や応用手法について講義する。主な内容として、企業の価値評価、合併・買収、デリバティブとリスク・マネジメント、リストラクチャリングなどを取り上げる。講義以外に、演習やケース討論を行って授業を進める。最近の企業財務の話題について、実務家をゲスト・スピーカーに招くことも予定している。				
履修条件 (Prerequisite)				
コーポレート・ファイナンス (F&A301) の既習者				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
井手正介・高橋文郎	ビジネス・ゼミナール 経営財務入門	日本経済新聞出版社	3,600 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	CF0 の役割／財務マネジメント体系の変遷			
2	エージェンシー理論とシグナリング理論	経営財務入門 第 9 章		
3	企業の価値評価	経営財務入門 第 23 章、第 24 章		
4	企業の合併・買収	経営財務入門 第 19 章		
5	合併・買収のケース(1)			
6	合併・買収のケース(2)			
7	デリバティブとリスク・マネジメント(1)	経営財務入門 第 17 章		
8	デリバティブとリスク・マネジメント(2)	経営財務入門 第 11 章、第 17 章		
9	最近の企業財務の話題(1)			
10	最近の企業財務の話題(2)			
11	財務のリストラクチャリング	経営財務入門 第 20 章		
12	日米大企業のリストラクチャリング			
成績評価 (Grading System)				
出席状況 20%、学期中の小レポート 20%、期末レポート 60%				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	F&A305	機関投資家と資産運用	笠利 宏
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>機関投資家が担う大きな役割の一つとして、証券市場における適正価値実現への貢献が挙げられる。そのためには、「適正な価値」に関する仮説を立て、それを検証していく姿勢が重要である。</p> <p>講義では、資産価格理論の基本である無裁定評価の考え方をはじめに確認する。次に、そこで重要な役割を担う金利の期間構造に関して、割引債投資という観点から整理する。最後に、こうした議論を踏まえた上で、債券運用について考えていく。</p> <p>講義は、講師が配布する資料に沿って行っていく予定である。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
特に設けないが、「ファイナンス基礎」や「経営数学」で取り扱う内容に馴染んでいることが望ましい。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ガイダンス		
2	資産価格の理論① (数学的準備)		
3	資産価格の理論② (状態価格とリスク中立確率)		
4	資産価格の理論③ (無裁定の価格評価)		
5	金利の期間構造① (スポットレートとフォワードレート)		
6	金利の期間構造② (割引債投資)		
7	金利の期間構造③ (期間構造の理論)		
8	金利の期間構造④ (期間構造の実際)		
9	金利の期間構造⑤ (金利モデル)		
10	債券の運用戦略① (パフォーマンス分解)		
11	債券の運用戦略② (パッシブ戦略)		
12	債券の運用戦略③ (アクティブ戦略)		
成績評価 (Grading System)			
出席：40% 中間課題：20% 期末テスト：40%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
大場昭義・菅原周一 ボディ・ケイン・マーカス ルーエンバーガー 榎原・青山・浅野	年金資産運用の理論と実践 証券投資 (上・下) 金融工学入門 証券投資論 (第三版)	日本経済新聞社 東洋経済新聞社 日本経済新聞社 日本経済新聞社	2,800円 (本体) 各4,800円 (本体) 4,800円 (本体) 5,400円 (本体)

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	F&A306	証券市場分析	中里 宗敬
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>この授業では実際の証券価格データを用いてファイナンス理論の検証を行う。扱うテーマとしては株式のリターン分布、市場の効率性、CAPM、現物先物パリティ、オプション評価、デルタヘッジなどである。また、後半のプロジェクトでは簡単なパッシブ運用のテストも行う。Excel を用いた演習中心の授業なので、毎回の出席が必須である。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
<p>ファイナンス基礎、統計分析 I を履修済みであること。また、インベストメント、デリバティブ、統計分析 II を履修済み、あるいは平行履修することが望ましい。</p>			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	なし		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	株価データの扱い		
2	投資収益率の分布と弱度の効率性		
3	リスクとリターン		
4	CAPM (β の推定、SML の検証)		
5	CAPM (β の推移、修正 β)、プロジェクト説明		
6	ポートフォリオ選択		
7	ポートフォリオ選択 (事後的有効フロンティア)		
8	プロジェクト報告会		
9	先物市場 (現先パリティ)		
10	オプション市場 (PC パリティ、B/S モデル)		
11	オプション市場 (IV、デルタヘッジ)		
12	プロジェクト最終報告会		
成績評価 (Grading System)			
出席・レポート : 60% プロジェクト : 40%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
榎原茂樹ほか	証券投資論 (第 3 版)	日本経済新聞社	¥5,400

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A307	デリバティブ	武田 澄広	
授業科目の概要 (Course Description)				
This is an introductory course on derivative securities. The objectives of this course are;				
(1) To survey functions and markets of basic derivative securities.				
(2) To study risk management strategies using derivative securities.				
(3) To learn the fundamental scheme of pricing derivative securities-- also known as risk neutral valuation.				
履修条件 (Prerequisite)				
「ファイナンス基礎」				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
Hull, John C.	Options, Futures, and Other Derivatives, 6 th ed. (2005), International Edition (ソフトカバー)	Prentice-Hall Inc.,		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	Chap. 1. Introduction.			
2	Chap.2. Mechanics of Futures Markets. Chap.5. Determination of Forward and Futures			
3	Chap.8. Mechanics of Options Markets. Chap.9. Properties of Stock Options.			
4	Chap.12. Wiener Processes and Ito' s Lemma Chap.13. The Black-Scholes-Merton Model.			
5	Chap.15. The Greek Letters. Chap.16. Volatility Smiles.			
6	Chap.11. Binomial Trees. Chap.17. Basic Numerical Procedures.			
7	Chap.18. Value at Risk. Chap. 25 Martingales and measures			
8	Chap. 4 . Interest Rate s . Chap. 7 . Swaps.			
9	Chap.26. The Standard Market Models. Chap.28. Models of the Short Rate			
10	Chap.20. Credit Risk. Chap.21. Credit Derivatives.			
11	Chap.21. Credit Derivatives. Chap.31. Real Options.			
12	Chap.31. Real Options. Chap.32. Derivatives Mishaps and What We Can Learn from Them.			
成績評価 (Grading System)				
クラス参加度 (出席を含む) 50%		課題等 50%		
注： この科目を履修予定の人は、事前に教科書を各自調達しておくことをお勧めします。大学の購買会で注文すれば、最長1ヶ月から1ヶ月半かかりますが、普通の書店で買うより1割引で購入できます。				

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	F&A308	コンピュータショナル・ファイナンス	北村 智紀
授業科目の概要 (Course Description)			
<ul style="list-style-type: none"> 債券価格・オプション価格の評価やリスク管理についての実習を行います。 簡単なエクセル・マクロを作成して、モデルに親しみ、利用できるようにします。 ケーススタディーを通じて、リスク管理についての理解を深めます。内容は、事業会社、年金基金、金融機関などのリスク管理を題材とする予定です。 			
履修条件 (Prerequisite)			
102 (ファンダンス基礎) を履修済みか、この講義と同時に履修してください。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
ジョン・ハル (東京三菱銀行金融商品開発部訳)	ファイナンシャルエンジニアリング (日本語版あるいは英語版)	金融財政事情研究会	9200 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	イントロダクション		
2	債券価格, デュレーション	テキスト第 5 章	
3	最終利回り, 債券運用・リスク管理	テキスト第 5 章	
4	ブラック・ショールズ・オプション公式 (ともかく使う)	テキスト第 12 章	
5	オプション価格変化 (インプライド・ボラティリティ)	テキスト第 12 章	
6	リスク管理 (オプション・ヘッジ・トレーダーの苦勞)	テキスト第 14 章	
7	二項モデル (ブラック・ショールズ公式と同じになるはず)	テキスト第 10 章	
8	二項モデル (どんな株式オプションでも価格がわかる)	テキスト第 10 章	
9	モンテカルロ・シミュレーション (円周率を求めよう)	テキスト第 18 章	
10	モンテカルロ・シミュレーション (将来は不確実だから)	テキスト第 18 章	
11	リスク管理 (VaR で万が一のことに備える)	テキスト第 16 章	
12	ケーススタディー (現実に生かそう)		
(試験)	ケーススタディー課題報告		
成績評価 (Grading System)			
1. ケーススタディー課題報告 (40%), 2. 宿題 (40%), 3. クラスへの参加 (20%)			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	F&A309	投資情報分析	北川 哲雄	
授業科目の概要 (Course Description)				
2年次の500番台科目「ファンドマネジメント・シミュレーション」にスムーズに溶け込むための前提科目として位置づけています。具体的には株式投資における銘柄分析を行う上でアナリストが行う「企業分析」を追体験していただきます。実際の企業IR開示情報を利用しいかに投資意思決定に繋げるかの一連のプロセスの理解を行えるようにすることを目標とします。				
履修条件 (Prerequisite)				
特にありませんが、春学期の「アカウントティング」科目については十分理解した前提で授業をすすめますので開講前に不十分と思われるかたは良く復習しておいてください。				
テキスト (Required Textbook)				
	著者	著書名	出版社	価格
1)	Financial Statement Analysis and Security Valuation	Stephen H. Penman	Mcgraw-Hill	不明(後程連絡します。品薄の場合他のテキストにします) 2625円
2)	『資本市場ネットワーク論』	北川哲雄	文真堂	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	証券アナリストの歴史と役割の変化	開講時に指示します		
2	アナリストのおこなう「企業分析」とは何か			
3	アナリストレポートの実際			
4	アナリストの行うフェアバリューの算定と投資格付け			
5	銘柄比較分析：ケーススタディ (1)			
6	銘柄比較分析：ケーススタディ (2)			
7	業績予想モデルの理解			
8	チーム中間発表～過去分析の徹底			
9	マクロ・セミマクロ分析と業績予想			
10	現役アナリストの仕事の実際 (ゲストスピーカー)			
11	チーム最終発表 (1) ～中期業績予想と投資評価			
12	チーム最終発表 (2) ～中期業績予想と投資評価			
成績評価 (Grading System)				
チームプレゼンテーションの内容、レポートの質、授業への参画度等を総合的に判断します。尚、ゲストスピーカーの都合、進捗度(人数の多少によって異なる場合があります)によって計画通りいかないこともあることを予めご承知ください。				
参考書				
	著者	著書名	出版社	価格
適宜指示します				

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A310	インベスター・リレーションズ	北川 哲雄	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>資本市場ネットワークを構成する重要な担い手の一角として、上場企業の行うインベスター・リレーションズ（以下IRと略称）活動は極めて重要なものとなっている。IRの意義、歴史、他の構成者との関係等を事例を交えながら探求してゆきたい。また、参加者にはある企業を念頭におきチーム毎による「IRプレゼンテーション」を行ってもらおう予定である。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
北川哲雄	『資本市場ネットワーク論～IR・アナリスト・ガバナンス』	文眞堂	2625 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	資本市場ネットワークの構成者	開講時に指示します		
2	企業発信情報にどのようなものがあるか			
3	アメリカにおけるIRの歴史			
4	フェアネスとモザイク			
5	元IR担当役員によるゲストスピーチ			
6	インフォメーション・ミーティング (IM) の意義			
7	アナリストとのコミュニケーション			
8	様々な投資家とのコミュニケーション			
9	IRケーススタディ (1) 決算レビューの場合			
10	IRケーススタディ (2) 中期経営計画発表の場合			
11	チームプレゼンテーション (1)			
12	チームプレゼンテーション (2)			
成績評価 (Grading System)				
<p>チームプレゼンテーションの内容、レポートの質、授業への参画度等を総合的に判断します。尚、ゲストスピーカーの都合、進捗度（人数の多少によって異なる場合があります）によって計画通りいかないこともあることを予めご承知ください。</p>				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
適宜指示します。				

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	F&A311	企業合併・買収	吉永 康樹
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>M&Aプランニングを行うための実践的能力を養成することを目的とする。毎回M&Aに関する具体的事例について、コーポレート・ファイナンス理論を前提にした、会社法、租税法、金商法、企業会計を巡る包括的な議論を受講者全員で行う。したがって、受講者は、事前に配布される参考資料を読み、条文に当り、課題を解いた上で講義に出席することが求められる。議論は単なるプランニング技法の領域に止まらず、コーポレートガバナンス論、経営倫理、資本主義論といった広範な領域に渡る。この講義を受講する学生には、安直に解答を求めるのではなく、自分自身で問いを立て、その問いに対し徹底的に論理的に考える堅牢な意志を要求する。講義では王子製紙・北越製紙、ブルドック、東京三菱・UFJ、東急建設他の建設会社の再生、セブン&アイHLDGS.、花王・カネボウ、トーカロのMBOといった事例を取り上げる予定である。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
「アカウンティング」、「コーポレート・ファイナンス」を履修済み、あるいは同等の知識を有すること。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
鈴木義行他	M&A実務ハンドブック	中央経済社	5460円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	M&A手法の種類と特徴	なし	
2	TOB(1)	課題を解く	
3	TOB(2)	課題を解く	
4	敵対的買収防衛策	課題を解く	
5	合併(1)	課題を解く	
6	合併(2)	課題を解く	
7	会社分割(1)	課題を解く	
8	会社分割(2)	課題を解く	
9	持株会社化	課題を解く	
10	事業再生(1)	課題を解く	
11	事業再生(2)	課題を解く	
12	LBO・MBO	課題を解く	
	期末レポート		
成績評価 (Grading System)			
授業内討論への参加 (70%)、期末レポート (30%)			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
	適宜プリントを配布する。		

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A313	財務会計	福井 義高	
授業科目の概要 (Course Description)				
この授業は、経営幹部として、財務会計情報を理解した上で意思決定を行うために、最低限必要な知識を身に付けることを目的とする。頻繁に改正される規則そのものではなく、その背後にある考え方、具体的には、実現利益という伝統的な基本概念を核に、企業会計を体系的に理解することを目指す。授業は教科書に沿って行う。事後の復習がとりわけ重要である。なお、教科書とは別に、企業会計の理解に欠かせない会社法の概要、会計データを使った財務分析及び会計基準作成・解釈の指針となる概念フレームワークについて、簡単に解説する。				
履修条件 (Prerequisite)				
高校数学Ⅰ・Ⅱの十分な理解と「アカウンティング基礎」の履修（あるいは同等の理解）。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
斎藤静樹	企業会計とディスクロージャー（第3版）	東大出版会	3,360円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	会計と開示	教科書第1章		
2	概念と構造	教科書第2章		
3	利益の実現	教科書第3章		
4	費用の配分	教科書第4章		
5	配分と評価	教科書第5章		
6	配分と評価	教科書第5章		
7	金融商品	教科書第6章		
8	会社法と企業会計	配布資料		
9	資本金	教科書第7章		
10	連結と合併	教科書第8章		
11	財務分析	配布資料		
12	概念フレームワーク	配布資料		
成績評価 (Grading System)				
期末試験 (100%)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A314	管理会計	東海 幹夫	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>現代企業の存在は、企業価値創造と社会的責任の達成を複合した視点によって評価される方向にある。会計情報のあり方も、当然に、そのような動向を考慮した理論と技法を整備していかなければならない。この科目は、そのような環境下にあるマネジメント行動に貢献する会計情報の構築に関する基礎理論を研究する。具体的には、管理会計の体系を業績測定・評価と経営意思決定支援の2大体系に区分し、それらの各々における典型的な技法と理論を解説し議論する。</p> <p>各回の後半もしくは次回までの課題として、受講者の理解度を確認する仮設例のケース分析を活用することが多い。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
履修の条件とするものはない。毎回の講義への参加を重視する。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
東海幹夫	プロフェッションのための原価計算・管理会計		清文社	¥3000+税
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	マネジメントと会計-財務会計と管理会計の融合化	はしがき、第2部第1章		
2	経営管理機能と管理会計の体系(区分)	第2部 第2章		
3	企業予算の基礎理論・技法と新たな展開	第7章		
4	事業部制・業務セグメントの業績評価	第6章		
5	損益構造分析と変動原価計算	第4章		
6	短期利益計画とCVP分析・損益分岐分析	第5章		
7	原価計算手法の基礎と展開	第9章、第1部エッセンス		
8	コスト・コントロールと標準原価計算	第3章		
9	トータルコストマネジメントの展開	第8～11章		
10	短期的業務意思決定の会計情報	第13章		
11	長期的構造意思決定の会計情報	第14章		
12	統合的会計情報システムの展開 (EVA、BSC等)	第15章		
成績評価 (Grading System)				
毎回の課題の評価および議論への参加 70%、その他レポート等 30%				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
	(個別の関心に応じて紹介する。)			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	F&A315	税務会計	中島 勝巳	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>企業にとって課税は、法人税等で利益のおよそ4割を負担する大きな支出項目である。しかも申告納税方式が採られ、企業自らが課税標準を計算し、税額を算出しなければならないシステムになっている。このため企業経営者にとって、正しい知識と的確な情報の集積により、適法にその負担の軽減を図るという「タックス・マネジメント」が極めて重要な課題である。また、税制が企業行動やその経理処理に直接影響を与える面も多く、企業会計や商法の側からみても、税法との調整が研究課題になっている。</p> <p>本講は、企業経営者にとって必要な、租税や税務会計等の基礎的かつ重要事項を理解することを目的とする。やや高度であるテキストを中心として、税務行政上の問題点を含めポイントを分かりやすく説明する。併せて学生の積極的な参加を求め、報告と討議により実務上必要なプレゼンテーション能力をも磨くこととしたい。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
日本の国家財政や租税問題に興味と関心があればよい。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社等	価格	
水野 忠恒 一橋大学院教授	租税法〔第3版〕 ・・・法律学大系	有斐閣 (2007/4/25刊)	¥5900(+税)	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	企業課税を中心とした税務行政の現状と問題点	独自資料による。事前準備は必要なし。		
2	租税法の基本原則；租税法主義と租税公平主義	第1章第2節		
3	租税法の体系；租税法と私法，租税回避と偽装行為	第1章第3節		
4	所得の定義と非課税所得	第5章第2，3節		
5	所得税の基本的仕組み，各種の所得	第5章第4，5節		
6	必要経費，損益計算と損失の繰越，実質所得者課税の原則	第5章第7，8，10節		
7	法人税の根拠，法人税・所得税の統合	第6章第1節，第3節		
8	法人所得の計算；企業会計と税務会計	第6章第4節		
9	益金の計算；益金の内容，無償取引，益金の別段の定め	第6章第3節		
10	損金の計算；損金の内容，損金の別段の定め	第6章第3節		
11	国際課税 1	第6章第7節		
12	国際課税 2	第6章第7節		
成績評価 (Grading System)				
授業への参加・貢献度合及び期末レポート試験による。				
参考書				
著者	著書名	出版社等	価格	
金子 宏ら (著)	ケースブック租税法 第2版	弘文堂(2007/3)	¥4725(税込)	
渡辺 裕泰 (著)	ファイナンス課税	有斐閣(2006/6)	¥3675(税込)	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A316	国際会計	上西 順子	
授業科目の概要 (Course Description)				
The main objective of this course is to provide an introduction to the significant issues in international accounting. This course will consider the environmental determinants of the accounting system, the differences among the accounting practices across countries, and the harmonization of the worldwide diversity in financial reporting with emphasis on the development of the International Accounting Standards and its impact on the different countries. IAS (international accounting standards) / IFRS(international financial reporting standards) will be considered with reference to the U.S. generally accepted accounting principles (GAAP) and the Japanese accounting standards. This course will be conducted mostly as a seminar class which relies on the students' participation based on assigned reading and cases. Students will be expected to report on the accounting topics selected in the latter part of the course.				
履修条件 (Prerequisite)				
A basic understanding of financial accounting and English is required. Although some translated materials are available, the textbook, cases and recommended readings from websites will mostly be in English.				
テキスト (Required Textbook)				
著者		著書名	出版社	価格
Choi and Meek (CM) Benston,Bromwich,et al. (BB)		International Accounting Worldwide Financial Reporting	Prentice-Hall, Inc. Oxford University Press	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	Introduction to international accounting		CM Ch.1,2	
2	Comparative accounting I		BB Ch 4,5	
3	Comparative accounting II		BB Ch 7	
4	Development of international accounting standards		CM Ch.8	
5	International Financial Reporting standards I		relevant sections from IAS/IFRS	
6	International Financial Reporting standards II		relevant sections from IAS/IFRS	
7	International Reporting and Disclosure		CM Ch.5	
8	Accounting for Foreign Currency Translation		CM Ch.6	
9	International Financial Statement Analysis		CM Ch.9	
10	Accounting for Business combinations		relevant sections from IAS/IFRS,SFAS	
11	Accounting for Intangible assets		relevant sections from IAS/IFRS,SFAS	
12	Accounting for Financial instruments		relevant sections from IAS/IFRS,SFAS	
	*Specific topic to be covered will be discussed with class.			
成績評価 (Grading System)				
Class participation and assignments		30%		
Class presentations		30%		
Term paper		40%		
参考書				
著者		著書名	出版社	価格
IASB FASB Epstein,Mirza,Walton Epstein, Nach, Bragg		IAS/IFRS SFAS Wiley IFRS 2007 Wiley GAAP 2007	IASB FASB Wiley Wiley	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A317	会計情報と株式市場	榊原 正幸	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>昨今、株式投資は資産形成の手段として、その意義を増してきている。本講義では、株式投資に関する知識と技術を、会計学の視座を軸にして学んでいく。また、会計学の知識のみならず、株式投資に必要なことは、分野を問わず基礎からきちんと学ぶことで、「毛並みの良い投資家」になることを目指す。</p> <p>目先の利益を追ったり、情報という美名に身を隠した「噂」で株を買ったりしないように、また、根拠のない高値で株を買って、塩漬け株を抱え込まないために、「会計学の知識」が、大きな役割を演じるのである。本講義は、株式市場を知るための知識を身に付けるための総合的な講義である。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特にないが、できれば「アカウンティング基礎」を受講済みであることが望ましい。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
榊原 正幸	株式投資 必勝ゼミ		PHP 研究所	1,575 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	市況展望と株式投資の基礎知識			
2	複利のチカラ			
3	株価の管理について			
4	BPS・PBR・EPS・PER			
5	銘柄選別基準			
6	株式投資の戦略的手法 (1. ナンピン 2. 時間的概念)			
7	信用取引のメカニズム			
8	個別ケース分析 データ収集と分析の基礎			
9	個別ケース分析による株価予想1 基礎編			
10	個別ケース分析による株価予想2 応用編1			
11	個別ケース分析による株価予想3 応用編2			
12	個別ケース分析による株価予想4 まとめ			
成績評価 (Grading System)				
原則的に、出席状況とレポートによって評価する。				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
榊原 正幸	株式投資 必勝ゼミ 第2講 株価予測 黄金の方程式		共に PHP 研究所	1,575 円 1,365 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
F U L L	F&A318	内部統制	中村 亨	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>エンロン事件に始まる企業不祥事が発端で2008年4月1日事業年から上場企業で義務付けられる「内部統制監査」。</p> <p>内部統制の必要性は？そもそもこれまではどうしていたのか？監査とは何か？その内容は？ 企業側の対応の実態は？ これらの課題について順を追って考察していく。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
未定				
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	監査とは何か？			
2	内部統制総論 (1)			
3	内部統制総論 (2)			
4	内部統制総論 (3)			
5	内部統制総論 (4)			
6	内部統制実施基準 (1)			
7	内部統制実施基準 (2)			
8	財務報告に係わる内部統制			
9	全社統制・IT統制			
10	ケーススタディー (1)			
11	ケーススタディー (2)			
12	総復習			
成績評価 (Grading System)				
出席、レポート (必要に応じて)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
未定				

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	F&A319	財務分析	福井 義高
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>この授業は、会計データ、特に公表された財務諸表を利用し、現代ファイナンス理論と統合的な企業評価を行うために必要不可欠な知識を身に付けることを目的とする。会計データで企業を分析・評価するという、会計データ作成者ではなくユーザーの観点からの授業である。ただし、単なるハウツーではなく、基本となる概念の深い理解を目指す。とくに重要な概念は割引超過利益法と言われる企業価値評価モデルで、この古くからある概念の再発見に中心的役割を果たしたのが James Ohlson 教授であることからオルソン・モデルとも言われている。EVA はそのひとつのバリエーションである。</p> <p>教科書は、米国の主要なビジネス・スクールの企業評価に関する授業で使われて定評あるものの翻訳である（日本語版は2版に基づくが、原著は4版が出ている）。教科書に沿った講義ノートをホームページ (http://www.gsim.aoyama.ac.jp/~fukui/) で公開する。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
高校数学 I・A の十分な理解と「アカウンティング基礎」の履修（あるいは同等の理解）。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著者	著者	著者
パレプ他	企業分析入門（第2版）	東京大学出版会	5,040 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	財務諸表を利用した企業分析及び評価のフレームワーク	教科書 1 章	
2	財務分析	教科書 9 章	
3	財務分析	教科書 9 章	
4	財務分析	教科書 9 章	
5	将来性分析：予測	教科書 10 章	
6	将来性分析：予測	教科書 10 章	
7	将来性分析：評価理論と概念	教科書 11 章	
8	将来性分析：評価理論と概念	教科書 11 章	
9	将来性分析：評価理論と概念	教科書 11 章	
10	将来性分析：企業評価の実際	教科書 12 章	
11	将来性分析：企業評価の実際	教科書 12 章	
12	将来性分析：企業評価の実際	教科書 12 章	
成績評価 (Grading System)			
期末試験 (100%)			
参考書			
著者	著者	著者	著者
斎藤静樹	企業会計とディスクロージャー（第3版）	東大出版会	3,360 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	F&A322	ファイナンス会計特別講座 －会計の諸問題	榊原 正幸	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>企業経営はもとより、日常生活を行う上で、会計学の基礎的概念は重要な位置を占める。また、個人として投資や資産形成を行う上でも、会計学の基礎知識や考え方を応用できる範囲は意外と広い。本講義では、会計学の知識を基礎としながら、各種の諸問題についてオムニバスのように考えていく。</p> <p>具体的には、まず所得税と法人税等の税務会計について取り扱う。次に、減価償却とその応用について考える。さらには、不動産投資・株式投資と会計について解説し、最後に経営分析の各種指標についてその基本を学ぶ。時間の余裕があれば、税効果会計についても解説する。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
なし。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
野水 鶴雄 著	基本所得税法	税務経理協会	2,520 円	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	所得会計の理論 1			
2	所得会計の理論 2			
3	所得会計の理論 3			
4	法人化と税務			
5	法人課税理論の諸問題			
6	減価償却の理論と応用 1			
7	減価償却の応用 2			
8	不動産投資と会計			
9	株式投資と会計 1			
10	株式投資と会計 2 / 経営分析と財務諸表 1			
11	経営分析と財務諸表 2			
12	経営分析と財務諸表 3 / 税効果会計			
成績評価 (Grading System)				
原則的に、出席状況とレポートによって評価する。				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
榊原 正幸	株式投資 必勝ゼミ	PHP 研究所 講談社	1,575 円	
	お金を増やす頭脳トレーニング		1,300 円	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	01S301	ネットビジネス	藤原 洋
授業科目の概要 (Course Description)			
インターネットの本格的商用化から10年以上が経過し、インターネットに関連した技術革新が急速に進んだために、社会構造が大きく変化してきている。本授業では、最初に、インターネットに関連した技術革新の本質を解説する。次に、技術革新の結果として、産み出されてきた多くのネットビジネスの中から典型的なビジネスを抽出し、それらについて、ビジネスモデル、競争優位性、存続性、および脅威について考察する。最後に、ネットビジネス全般について、今後の課題と将来について展望し業界における勝敗分析を受講者と共に行い分析結果について議論する。			
履修条件 (Prerequisite)			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
藤原洋	毎回作成の講義資料 (パワーポイント)		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	ネットビジネスを産んだ技術革新その1 (通信インフラ)		
2	ネットビジネスを産んだ技術革新その2 (コンピュータ)		
3	ネットビジネスとしての通信事業 (通信事業/ISP/iDC)		
4	通信事業における勝敗の検証	学生に課した勝敗分析の評価と議論	
5	Webブラウザと検索エンジンサービス		
6	Webブラウザと検索エンジンサービスでの勝敗の検証	学生に課した勝敗分析の評価と議論	
7	ポータルとネット広告ビジネス		
8	ポータルとネット広告ビジネスでの勝敗の検証	学生に課した勝敗分析の評価と議論	
9	オークション/Eコマースサービス		
10	オークション/Eコマースサービスでの勝敗の検証	学生に課した勝敗分析の評価と議論	
11	ネットによるコンテンツ流通ビジネス		
12	ネットによるコンテンツ流通ビジネスの勝敗と検証	学生に課した勝敗分析の評価と議論	
成績評価 (Grading System)			
最終レポート提出、小レポート提出 (5回) : 最終レポートと小レポート (5回分) ウェイト 50%/50%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	01S302	ITソリューション	岩井 千明、堀内 正博	
授業科目の概要 (Course Description)				
前半はサプライチェーンマネジメント (SCM) の基礎をテキストで学んだ上、カーネギーメロン大学によって開発されたシナリオを導入して、それをもとに実際の IT ソリューションとそのための手法に関する学習を、Story-centered な仕組みにより行なう。この企業は、国際展開はしているが、その業務全般にわたって IT 導入による業務改善の余地が散見される。そして、トップから指示が与えられたという状況からスタートする。現状の分析とそれをもとにした提案が基本となる。また、後半は SCM を実体験するゲーミングシミュレーション所謂「ビールゲーム」およびケースの改善提案書の作成・発表・討論を行う。				
履修条件 (Prerequisite)				
特にないが、企業における IT や情報の活用について関心のある方が望ましい。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
藤野 直明	サプライチェーン経営入門		日経文庫	872 円
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	概要説明、オリエンテーション、チーム編成			
2	SCM 概論 1	テキスト 1, 2 章		
3	SCM 概論 2	テキスト 3, 4 章		
4	Moffett Foods 社の概要	Web からダウンロード		
5	Moffett Foods 社のテクノロジー	同上		
6	産業分析と Moffett Foods 社の Financials	同上		
7	Moffett Foods 社のサプライチェーン分析	同上		
8	Moffett Foods 社の調達と購買	同上		
9	SCM ゲーム (Full/Flex 合同で 2 コマ同一日に実施予定、日程は別途調整)			
10	SCM ゲーム (同上)			
11	SCM について	テキスト 5 章		
12	最終報告・討論			
成績評価 (Grading System)				
平常点 (指定する小レポートを含む) とグループ発表、最終報告による				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	01S303	ITと経営戦略	長谷川 純一	
授業科目の概要 (Course Description)				
このコースでは次のテーマをカバーします。 1. 新しい IT 技術を活用し、企業の競合優位性を高めるには? 2. 企業の経営戦略に合致した IT 投資を行うには? 3. IT 投資(プロジェクト)を成功させるには、どのような変革が必要になるか? 講師による講義とケースに基づくクラス ディスカッションを隔週で行います。テキストは、専門誌掲載論文を適宜用います。使用するケースは変更になることがあります。より詳細なシラバスをコース初日に配布します。				
履修条件 (Prerequisite)				
マネジメント基礎、オペレーションズ・情報システム基礎を履修済みであること				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	IT の経済モデル			
2	ケース: NTT DoCoMo Mobile FeliCa			
3	e コマース			
4	ケース: Amazon.com			
5	Web 2.0			
6	ケース: Google			
7	オペレーティング モデルとエンタープライズ アーキテクチャ			
8	ケース: 7-Eleven Japan			
9	IT とビジネス価値のアラインメント			
10	ケース: Southwest Airlines			
11	IT 導入と変革のマネジメント			
12	ケース: The Information Technology System that Couldn't Deliver			
成績評価 (Grading System)				
クラス参加 40%、レポート 60% (30% x 2 本)				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
Carl Shapiro, Hal R. Varian	Information Rules: A Strategic Guide to the Network Economy	Harvard Business School Press	\$38.00	
Jeanne W. Ross, Peter Weill, David Robertson	Enterprise Architecture As Strategy: Creating a Foundation for Business Execution	Harvard Business School Press	\$35.00	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
F U L L	01S304	バリューチェーン・マネジメント	玉木 欽也
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>本講義では、従来の「生産管理」として「モノ作り」のQCD(品質・コスト・納期)の向上を追及するとともに、「顧客ニーズを満たす売れる新製品」をタイムリーに市場に供給できる「モノ作り」の経営革新を達成するために、事業戦略の中でも特に新製品ならびに新サービスの新規事業開発を主な対象とし、製品ライフサイクル全域に係わるプロダクトイノベーションとプロセスイノベーションの統合化について、「事業創造戦略」の観点から体系的に教授します。この講義の特色は、「事業創造戦略」を、広義のPLM(Product Lifecycle Management)から捉えていることです。主な講義内容は、次に示す3つの課題です。第1に、企業戦略における事業戦略の位置づけ、事業戦略に関する個別戦略、そして、事業戦略の中でも特に新製品開発戦略に焦点をあてて学びます。第2に、製造業において根幹となる「モノ作り」に関わる事業システム、すなわち、新製品・サービスの企画から、設計、調達、生産技術、製造、市場投入、販売、そして製品の終焉までの「全製品ライフサイクル」を対象とした、「製品情報の流れ(=エンジニアリングチェーン)」であるエンジニアリングプロセスを学びます。第3に、その全製品ライフサイクルを俯瞰したエンジニアリングプロセスに対応させて、顧客価値や事業価値の創造につながるバリューチェーンに関連したさまざまなマネジメント方法を学習します。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
特になし			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
授業中に適宜指示			
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	事業創造戦略のフレームワーク (1)		
2	事業創造戦略のフレームワーク (2)		
3	事業システムの基本設計 (1)		
4	事業システムの基本設計 (2)		
5	事業システムの基本設計 (3)		
6	事業システムの基本設計 (4)		
7	製品ライフサイクルマネジメント(PLM)と製品開発戦略 (1)		
8	製品ライフサイクルマネジメント(PLM)と製品開発戦略 (2)		
9	製品ライフサイクルマネジメント(PLM)と製品開発戦略 (3)		
10	生産システムと製・販・物マネジメント (1)		
11	生産システムと製・販・物マネジメント (1)		
12	生産システムと製・販・物マネジメント (1)		
	なお、授業内容は授業進度に応じて変更ことがあります		
成績評価 (Grading System)			
1) 授業に対応した課題、2) 授業に対応したレポートにそれぞれウェイトを定めて100点満点に得点化します。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	01S305	クオリティ・マネジメント	本間 香介	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>日本は第二次世界大戦以来、1980年代の終わり近くまで順調な経済成長を遂げたため、日本の国際競争力は世界で最も強いものと考えられていた。しかしながら1990年代に入り、日本の競争力は急激に低下し、長期の不景気をもたらした。戦後、日本の国際競争力を高めた要因は一体何だったのか。アメリカはどのようにして国際競争力を回復したのか。そしてまた、日本の国際競争力を回復させるためには今なにがなされなければならないのか。そのために、あなたの組織体をどうしたら競争力のある組織にすることが出来るのか、具体的でかつ効果的なカイゼン手法を学問としてのみならず実学としてマスターできる。“Joy of Study” & “Joy of Work”</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
吉田 耕作	ジョイ・オブ・ワーク 組織再生のマネジメント	日経BP	2,400	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	なぜ、日米の競争力は逆転したのか？			
2	新しいTQMのコンセプト			
3	どうしたら改善できるのか？			
4	ばらつきを管理しよう			
5	Creative Dynamic Group Method			
6	日本のQCサークルは、なぜ衰退したのか？			
7	社会福祉局だって、改善できる			
8	CDGMの実践1			
9	CDGMの実践2			
10	デミング経営哲学の真髄			
11	文科系学生に競争力を			
12	チーム・プロジェクトの発表			
成績評価 (Grading System)				
期末試験：60% ， グループ・プロジェクト：40%				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	01S306	起業とIT	藤原 洋
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>起業とは、一般には、第1フェーズ（資金調達によって新たに企業を設立する）、第2フェーズ（顧客獲得を行う）、第3フェーズ（株式市場に上場する）、第4フェーズ（上場企業として成長する）という4つのフェーズに分けられる。変形例としては、上場せずに上場企業に売却することもある。また、成功した過去の起業例から、産業革命との相関が高いことがわかる。このため、本講では、最初に、起業にとって重要な社会環境である、起業家が直面してきた産業革命史、特にデジタル情報革命史について概観する。次に、起業とITにとって重要な標準化競争について解説する。実体験をまじえた起業の各フェーズにおける実際の経営課題とその具体策について受講者と共に立案・評価する。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
藤原洋	毎回作成の講義資料（パワーポイント）		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	自らの起業体験（創業、株式上場、M&Aする/される）		
2	起業に重要な産業革命と標準化競争		
3	デジタル情報革命史その1（コンピュータ業界の攻防）		
4	コンピュータ関連企業のビジネスモデルの立案と検証	学生の立案に基づく評価と議論	
5	デジタル情報革命史その2（ネットワーク業界の攻防）		
6	ネットワーク関連企業のビジネスモデルの立案と検証	学生の立案に基づく評価と議論	
7	デジタル情報革命史その3（インターネット業界の攻防）		
8	インターネット関連企業のビジネスモデルの立案と検証	学生の立案に基づく評価と議論	
9	起業の実際その1（創業期から株式上場まで）		
10	非上場企業が直面する課題と対応策	学生に課した対応策の評価と議論	
11	起業の実際その3（株式上場後の成長戦略の実際）		
12	上場企業が直面する課題と対応策	学生に課した対応策の評価と議論	
	最終レポート提出（必須）、小レポート（5回任意）		
成績評価 (Grading System)			
最終レポート提出、小レポート提出（5回）：最終レポートと小レポート（5回分）ウェイト50%/50%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	01S307	インターネット	村上 健一郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>本講義では、効果的なインターネットのビジネス利用を目指して、インターネットの基本的な仕組みを学習する。ここで中心となるのはネットワークの構成と通信手順（プロトコル）である。学習を容易にするため、講義は、インターネットの利用者が直接触れる機会の多いアプリケーションから入っていき、次第にインターネットのコアプロトコルへと話題を移してゆく。なお、進捗および内容は受講者のレベルに応じて調整する。</p> <p>テキストは使用しないが、資料を毎回配布する。また、事前に準備が必要な場合には、下記の参考書欄のファイルを無料で配布する。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
なし				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名	出版社	価格	
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)		
1	インターネットの概要			
2	電子メールのシステムとプロトコル			
3	ウェブのシステムとプロトコル			
4	インターネット電話のシステムとプロトコル			
5	検索エンジンの仕組み			
6	インターネットアーキテクチャ入門			
7	IP プロトコルとルータ			
8	経路制御			
9	TCP と UDP プロトコル			
10	ネットワークの維持管理			
11	インターネットガバナンス			
12	インターネットセキュリティ			
成績評価 (Grading System)				
出席 60%、課題（レポート、発表を含む）40%で評価する。				
参考書				
著者	著書名	出版社	価格	
村上 健一郎	P2P/ブロードバンド時代の新 TCP/IP 入門 (インターネットマガジン連載)	インプレス	無料（ファイルで配布する）	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	01S308	ビジネスデータ分析	岩井 千明
授業科目の概要 (Course Description)			
マーケティングデータを中心にビジネスデータの分析を実習を通じて学ぶ。授業では実際にデータ（主として小売店 POS 及びインターネットアンケートなどマーケティングデータ）を使用してその分析や処理方法など実務内容を学ぶ。ソフトウェアは Microsoft Office（Excel, Access, PowerPoint）ならびに SPSS などを使用する予定である。参考資料はハンドアウトおよび指定する Web アクセスとし、参考図書は随時紹介する。			
履修条件 (Prerequisite)			
Microsoft Office (Excel, PowerPoint) の基本操作ができること。必要に応じてノート PC を持参すること。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	データマイニングの考え方、マーケティングデータ概論		
2	データの種類とその扱い方		
3	データの要約 OLAP		
4	予測を行う 回帰分析(1)		
5	予測を行う 回帰分析(2)		
6	グループを探る クラスタ分析		
7	要因によりグループを決定する 決定木		
8	類似データをまとめる 主成分分析		
9	データ分析 (1)		
10	データ分析 (2)		
11	データ分析 (3)		
12	最終発表		
成績評価 (Grading System)			
評価は出席、授業中の参加度、レポートおよび最終発表により行う。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
喜田 安哲ほか	データ分析と SPSS 〈1〉 基礎編	北樹出版	2,835 円
	データ分析と SPSS 〈2〉 展開編		2,835 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
FULL	01S309	情報セキュリティ	井田 昌之	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>この講義では、情報セキュリティについて概観し、その大枠を把握し、現在のこの領域での問題に対する理解を深め、それらの要素となる事項および技術的要件について学習することを意図している。「情報」セキュリティの課題は「コンピュータ」セキュリティだけではない、業務の円滑な運用・社会の健全な進展のための、情報に関する多面的な課題が含まれる。</p> <p>まず全体像と問題点について講義ノートを中心に講義・討論し、その上で個別の課題について学習をすすめる。講義ノートは全般に利用される。特に、市販指定テキストによる学習においては、企業活動と一般生活の接点でもある Web を軸にして扱う。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
特になし				
テキスト (Required Textbook)				
著者		著書名	出版社	価格
①情報処理推進機構		「情報セキュリティ読本」(改訂版) ISBN : 978-4-407-31298-0	実教出版	500円+税
②井田昌之		講義ノート (第一回に配布)		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)		事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	情報セキュリティの基礎・概要 講義ノートより			
2	テキスト第一章 IT に潜む危険			
3	第二章 今日のセキュリティリスク			
4	第三章 ウイルスなどの不正プログラムによる被害とその対策			
5	第三章 スパイウェア、ボット、予防と対策			
6	第四章 個人レベルのセキュリティ対策			
7	第四章 企業レベルのセキュリティ対策			
8	第五章 セキュリティ技術			
9	第六章 関連の法規と制度			
10	講義ノートより OECD ガイドライン			
11	講義ノートより 上級トピック 1			
12	講義ノートより 上級トピック 2			
成績評価 (Grading System)				
出席と数回の小レポート、ならびに最終レポートによる				
参考書				
著者		著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
FULL	0IS310	ウェブ戦略	大島 正嗣
授業科目の概要 (Course Description)			
この講義では、チーム毎に実際に期間限定の Web サイトの企画を立案、作成し、より多くのユーザーを引き付けるにはどのような構成・機能が必要かを考え、実際にサイトを再構築していく。情報アーキテクチャ・Web ユーザビリティについても考えてみたい。			
履修条件 (Prerequisite)			
実際に Web サイトを公開するので、Web ページを作成できること、もしくは独習できること（少なくともチームに一人）。サイトコンテンツの題材に苦労しないこと。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	イントロダクション		
2	HTML の基礎		
3	ドメインの取得とサイトの立ち上げ		
4	Web ページアクセスログ解析		
5	情報アーキテクチャと Web ユーザビリティ (討論)		
6	cookie によるユーザトラッキング		
7	Web2.0 (RSS, Podcast, SMS, CGM)		
8	検索エンジン対策		
9	コンテンツ・マネジメント・システム(CMS)		
10	情報アーキテクチャと Web ユーザビリティ (討論)		
11	サイトセキュリティ対策		
12	報告会		
成績評価 (Grading System)			
作成した Web サイトの集客数と、最終レポートによる。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
田中あゆみ	Web マーケティングの入門教科書	毎日コミュニ	2400 円

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	01S311	グローバル IT	井田 昌之
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>グローバル化した時代に用いるべき IT のコンセプト、そして適用対象となる地域の特質、などを中心に、各自の経験を混ぜながら学習し、経営者として、また、起業家として、国際的な活躍をするうえで必要な IT について学ぶ。討論を中心とし、意見と判断力の醸成を目標とする。</p> <p>全体を 3 つの部分に分ける。集中講義の日程を前提としている。3 つとは次である。1) サービス指向におけるグローバル分業の課題について、2) オープンソースソフトウェア (OSS) ムーブメントのグローバルビジネスへのインパクト、3) 地域特性をめぐって。これは出席者の希望する地域に関してでよいが、特になければ、中国、台湾、ベトナム、カンボジア、EU、ブラジル、米国のどれかを考えている。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
<p>グローバルな IT の適用に関して、利用者として、あるいは供給者として、あるいは新規ビジネス参入予定者として問題意識がある方が望ましい。事前レポートとして、「私とグローバル IT」という題で A4 サイズ 1, 2 枚のレポートを作成し、第一回に持参すること</p>			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	ハンドアウト		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	第一日 概要、技術標準による共通性と独自性の維持	事前レポートを必ず持参すること	
2	基本的な技術インフラの要件、コスト、アウトソーシングとオフショア、製造業とサービス業の違い		
3	第二日 サービス指向におけるグローバル分業の課題 1)		
4	同上 2) 諸問題とその対応をめぐって		
5	第三日 グローバル分散システム構築のための手段: 討論		
6	最終日の地域特性に関する課題について		
7	第四日 オープンソース (OSS) ムーブメントの基礎		
8	アジア、アメリカ、ヨーロッパでの OSS		
9	第五日 OSS のグローバルビジネスへのインパクト		
10	途上国支援と国際競争力、OSS に関する討論		
11	第六日 オープン参加型の時代地域特性をめぐって		
12	発表と討論。まとめ		
成績評価 (Grading System)			
平常点、2 回の小レポート、最終レポート			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	501	マネジメント・ゲームⅠ・Ⅱ	岩井千明、森田 充、福井一枝
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>本科目は、原則として学生4-5名1組で仮想の消費財会社(時計メーカー)の経営を行う。米国カーネギーメロン大学(CMU)との合同のビジネスシミュレーションゲームである。全ての資料は英語で、コミュニケーションは主に電子メール、Webを通じて行われる。</p> <p>本科目の目的は、マネジメント、マーケティング、財務、会計、オペレーションといった会社機能の全体を把握するとともに、経営者が直面する諸問題(経営計画の策定、取締役会での発表と承認、リスク管理、チーム内の動機付け、株主への情報開示など)を実際に経験することにより問題解決能力を向上させていくことにある。仮想の会社は他の4社と競合しながら、米国、イギリス、ドイツ、中国および日本のマーケットに対して腕時計の製造・販売を行う。過去数年分のデータを元に経営計画を策定し、計3回取締役会での報告・承認を受けながら70項目のデータを(CMU)のコンピュータに入力する。</p> <p>競合他社は全てCMUなど海外のMBAの学生のチームであり、グローバルな競争を体験することが可能となる。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
<p>マネジメントⅠ・Ⅱともに履修すること。期間中は週20時間以上の個人、チーム活動の時間を要する。また、チームが活動の単位になるので最後までやり遂げることができる学生のみが受講可能である。また、取締役会は全て出席の必要がある。</p>			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	指定のWebから各自ダウンロードする。		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
4月	ゲームルール説明・チーム決定 データ分析		
5月	Strategic Plan, Marketing Plan の作成・取締役会準備		
6月	Strategic Plan 提出、初年度データ入力、第1回取締役会 労使交渉、Marketing Plan 提出	詳細日程はCMU Webにて適宜提示される。	
7月	2年度データ入力分析、第2回取締役会 3年度データ入力分析	同上	
8月	第3回取締役会	同上	
9月	ゲームまとめ		
成績評価 (Grading System)			
<p>マネジメントゲームⅠはStrategic Plan, Marketing Plan等の課題及び授業への出席で評価する。マネジメントゲームⅡは原則としてCMUの成績基準で決定する。すなわち、取締役会での評価、チームの成績、マーケティングプラン、労使交渉、個人のポートフォリオ、チームメンバー間の相互評価の総合点(相対評価)である。単位取得のためには、マネジメントゲームⅠ・Ⅱともに合格する必要がある。</p>			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	502	F A S T I	中里 宗敬
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>この授業では、LAN上に構築された仮想金融市場を使って証券投資を体験する。あらかじめ投資のシチュエーションがケースとして与えられるので、各自で投資戦略を準備し、授業内ではそれを実行する。これまでに学んできたファイナンスの理論、知識を実践することがこの授業の目的である。FAST1で扱うトピックスは以下の通りである。現在価値、デュレーション、ポートフォリオ選択、資本資産評価モデル、市場の効率性、オプション、裁定取引。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
<p>ファイナンス基礎を履修済みのこと。証券市場分析、インベストメントを履修済みであることが望ましい。</p>			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	なし		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	トレーディング練習	ケース： B01	
2	債券投資 1	B01, B02	
3	債券投資 2	B03	
4	債券投資 3	B04	
5	B04 のレビュー、CA0 の解説	B04、CA0	
6	株式投資 1	CA0	
7	CA0 のレビュー、CA1 の解説	CA0、CA1	
8	株式投資 2	CA1	
9	情報の効率性 1	RE1	
10	情報の効率性 2	RE2	
11	情報の効率性 3	RE3	
12	RE3 のレビュー	RE3	
成績評価 (Grading System)			
出席 (レポート) : 60% トレーディング : 40%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
榎原茂樹ほか	証券投資論 (第3版)	日本経済新聞社	¥5,400

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	502	F A S T II	中里 宗敬、北村 智紀
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>この授業では、LAN 上に構築された仮想金融市場を使って各自が証券を体験する。あらかじめ投資のシチュエーションが与えられるので、投資戦略を準備し、授業内でそれを実行する。これまでに学んできたファイナンスの理論、知識を実践することがこの授業の目的である。</p> <p>FAST2 ではデリバティブを中心にトレーディングを行う。また、これと平行して、実際の証券データを用いたファンド運用の研究プロジェクトを行う。最終日にはプロジェクト発表会を行い、その成果を報告する。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
FAST1、デリバティブを履修済みのこと。証券市場分析、コンピューテショナル・ファイナンスを履修済みであることが望ましい。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	プロジェクト説明	ケース :	
2	2 項過程	OP1、OP2	
3	OP1、OP2 のレビュー、OP3 の解説。	OP1、OP2、OP3	
4	プロジェクト中間報告 1		
5	2 項過程	OP3	
6	OP3 のレビュー、ST1 の解説。	OP3、ST1	
7	連続時間モデル	ST1	
8	ST1 のレビュー、XR1 の解説。	ST1、XR1	
9	プロジェクト中間報告 2		
10	連続時間モデル	XR1	
11	XR1 のレビュー		
12	プロジェクト最終報告会		
成績評価 (Grading System)			
出席 (レポート) : 30% トレーディング : 20% プロジェクト : 50%			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
John Hull	Option Futures, and Other Derivatives (Sixth Edition)	Prentice Hall International	

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	503	インターネット・ビジネス・プロジェクト I	井田昌之、岩井千明、藤原 洋
授業科目の概要 (Course Description)			
e-ビジネス、e-コマース、および IT ビジネスなどの総合領域としてインターネットビジネスを扱うときに、これらの実施において出会うであろうさまざまな課題について、仮想企業の社員であることを想定して、具体的な場面においてどのように対処するか、キャプストーン科目として、総合的なプロジェクト学習をする。一般にソリューション開発の多くはシーズベースが多く、経営者から見た経営課題との対応の視点が弱くなり勝ちである。また、いわゆる文理融合による問題解決の具体像への経験が不足しがちである。さらには企業経営の課題を理解できる超上流工程の IT 技術者の育成も急務である。これらに関する総合的なコースとして参加者が自分の視点で参加することを求めている。			
履修条件 (Prerequisite)			
OIS301 および OIS302 を履修済みであることがのぞましい (2008 年度については事情によりこれらの並行履修も認めることがある)。インターネットビジネスプロジェクト II を同時に履修申請すること			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	Web および配布資料による		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	全体概要の説明、チーム編成、準備		
2	Stage1 市場環境分析・I4 業務フロー分析		
3	Stage1 グループワーク		
4	Stage1 現状分析グループ発表		
5	Stage1 to-be モデルグループ発表		
6	Stage1 講評とまとめ、Stage2 の説明		
7	Stage2 課題 1 の説明、Web の利用と Web ビジネス		
8	Stage2 課題 2 の説明、Web のプランニングと設計		
9	Stage2 トピックス：携帯電話、ユーザビリティについて		
10	Stage2 課題 1 グループ発表と教員からのコメント、討論		
11	Stage2 トピックス：ユーザビリティ、グループワーク		
12	Stage2 グループワーク		
成績評価 (Grading System)			
出席と平常点、グループワーク成果レポート、個人最終レポート			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	503	インターネット・ビジネス・プロジェクトⅡ	井田昌之、岩井千明、西村一彦
授業科目の概要 (Course Description)			
<p>仮想企業 I4Electronics はパソコン製造販売業である。全体は4ステージにより構成される。第一ステージではビジネスプロセス分析を課題とし、経営的な特質と実績、情報システムの現状などの把握からはじめ、改善提案へと向かう。第二ステージでは、川下についての具体化を扱う。B2Cへの展開として、オンライン直販ショップの開設を意図してプロジェクト学習をする。第三ステージでは、川上を意識した企業間連携、特にサプライチェーンの分析と改善、WebEDI や Web サービスなども含む。第四ステージでは、新技術とクリエイティビティを課題とし、新ビジネス提案ならびに業務新方式の提案が期待される。本年度は、SEO/SEM を扱う。Web では、利用者がどう店内を動いたかが個別に記録されている、これをどう生かすかが中心課題となる。</p>			
履修条件 (Prerequisite)			
OIS301 および OIS302 を履修済みであることがのぞましい (2008 年度については事情によりこれらの並行履修も認めることがある) インターネットビジネスプロジェクトⅠを同時に履修申請すること			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
	Web および配布資料による		
授業計画 (Topic and Reading Assignment)			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	Stage2 課題レポート発表会		
2	Stage3 概要説明と SCM		
3	Stage3 問題提起とペーパーワーク		
4	Stage3 演習Ⅰ		
5	Stage3 演習Ⅱ、WebEDI		
6	Stage3 演習Ⅲ、Web サービス連携		
7	Stage3 発表会、		
8	Stage4 概要説明と問題提起		
9	Stage4 SEO・SEM とアクセス解析		
10	Stage4 課題説明とグループワーク、テストケースの解析		
11	Stage4 グループワーク		
12	Stage4 課題レポートまとめ		
1月	最終発表会		
成績評価 (Grading System)			
出席と平常点、グループワーク成果レポート、個人最終レポート			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名
共通	504	ファンド・マネジメント・シミュレーション ～大和証券グループ寄附講座～	北川哲雄、森田 充、大和証券グループ
授業科目の概要 (Course Description)			
大和証券グループの協力を得て、仮想の日本株式アクティブ運用を行う。			
履修条件 (Prerequisite)			
「ファイナンス基礎」および運用関連科目（「ポートフォリオ・マネジメント」「機関投資家と資産運用」等）を履修していることが望ましいが必ずしも必須ではない。ただし、チーム運用になるのでチームワーカーであることが必要である。			
テキスト (Required Textbook)			
著者	著書名	出版社	価格
適宜配布します。			
授業計画 (Topic and Reading Assignment) 仮			
	授業テーマ (Topics)	事前準備箇所 (Reading Assignment)	
1	株式運用の基礎 (チーム編成)		
2	株式運用のための統計基礎 (1)		
3	株式運用のための統計基礎 (2)		
4	POET SYSTEM 入門 (1)		
5	POET SYSTEM 入門 (2)		
6	運用哲学と運用手法		
7	月次レビューミーティング (仮)		
8	ゲストスピーカーによる講演		
9	月次銘柄選択会議		
10	チーム分析		
11	月次レビューミーティング (第1回)		
12	総括		
	(大和証券グループと細かい日程については協議中であり開講時に FIX したものをお知らせします; 以上は昨年度の実績を基にした仮のものです)		
成績評価 (Grading System)			
運用成績、選択した投資哲学との一貫性、銘柄選択における調査能力、チームプレイの有無等を総合判断して決めます。			
参考書			
著者	著書名	出版社	価格
適宜指示します。			

区分 (FULL・FLEX、等)	コード	授業科目名	担当者名	
共通	505	ビジネス・プランニング	前田 昇、高橋文郎	
授業科目の概要 (Course Description)				
<p>自ら考えた実現性の高い新規ビジネスの事業計画(約 30-50 ページ)を少人数のグループ(約 3 人)で練り上げ、ベンチャーキャピタルやエンジェルに提出可能なレベルまで完成度を上げることにより、近い将来社内起業も含めたベンチャービジネス起業実現をめざす能力を養成する。</p> <p>各種あるビジネス創出講座の中でも、本講座は実現性の高いビジネスモデル開発とその発展フェイズごとの経営管理やマーケティング戦略に焦点を置き、顧客現場を重視した肌で感じるビジネス創出を目指す。前半は女性を含む起業家やエンジェルをゲスト講師に招き、後半は株式上場済み起業家やベンチャーキャピタルを招き実務的な評価を受ける機会を持つ。ソーシャルアントレプレナーや女性起業家から株式上場を目指す本格的起業まで幅広い分野の起業を対象とする。</p>				
履修条件 (Prerequisite)				
アントレプレナーシップ又は新事業とベンチャーを履修していることが望ましいが、特に必須ではない。				
テキスト (Required Textbook)				
著者	著書名		出版社	価格
特になし	(総務省で今春完成予定の IT ベンチャーテキストを副読本とする予定)			
授業計画 (Topic and Reading Assignment)				
	授業テーマ (Topics)			事前準備箇所
4 月	新規事業の必要性、社会的背景、役割等の講義。若手起業家、女性起業家等のゲスト講義。各人の持つビジネスアイデアのブレインストーミング			参考文献読書
5 月	グループ分け。ビジネスコンセプトの構築、ビジネスモデルの検討。ビジネスプランの作成法の講義、ビジネスプラン事例の分析。株式公開起業家等のゲスト講義			
6 月	ビジネスモデルの構築、市場調査、リードユーザーのヒアリング			
7 月	マーケティング戦略の構築、商品、サービス、販売チャネルの検討			
(8 月)	休み中に対象となる現場市場の観察を各自が自主的に行う			
9 月	成長フェイズの戦略と管理、将来展望、パイロットテスト、対面アンケート調査			
10 月	PL, BS, CF, IRR等のフィナンシャル・シュミレーション、資本計画、ストックオプション計画			指定ソフトの使い込み
11 月	リスクマネジメント、実現性の高度化、事業計画書をほぼ完成、プレゼンテーション資料の作成とプレゼン練習			
12 月	ビジネスプランのプレゼンテーション、エンジェルやベンチャーキャピタルの評価、グループ間討議			
1 月	近い将来の実現への模索と討議			
	(上記順はケースバイケースで少々変動します)			
成績評価 (Grading System)				
ビジネスプランの内容と発表 60%、 実現性 20%、 毎回の授業への参画度 20%				
参考書				
著者	著書名		出版社	価格
竹間忠夫 大宮知信 経沢香保子 野中郁次郎、前田昇他	101 人の起業物語 彼らはなぜ成功したか？ 自分の会社をつくるということ イノベーションとベンチャー企業		光文社 ダイヤモンド社 八千代出版	999 円 1300 円 2900 円

